

創立十周年



大阪府立藤井寺高等学校

10周年記念誌



大阪府立藤井寺高等学校

校歌 作词 作曲 森井久美

千載最古河内国原

みはるが平御陵の森は

万学の歴史を称ふ

聖なる文化の都布に

輝ける道拓さんと

進みゆく藤井寺高校

二丈和川の水清きと

濁世にも汚まらぬと

たふさき健児の力を

新しき世紀に臨み

有終世に問ひゆかむ

ふかき藤井寺高校



創立10周年を迎えて

学校長 市橋平三郎

昭和49年4月1日、第87番目の府立高等学校として開校した本校も、本年をもって満10歳を迎えることになりました。

藤井寺市民総合会館にて第1回入学式が挙行されてより10年、順調な発展をたどって名実ともに学びの殿堂として成長を遂げてまいりましたことは、ひとえに本校創立以来の府当局、PTA、校友会、同窓会、地域の皆様方のあたたかい御指導、御援助のおかげでありまして、ここに衷心より感謝申し上げます次第であります。

本校の位置する藤井寺市は、太古の昔から集落として開け、先縄文文化時代から栄えた河内文化の発祥地であり、幸いにも今なお豊かな情意の育まれている土地柄であります。創立にあたって初代校長森田敏夫先生は、この豊かな情意を大切に育み育てつつ、地域社会に根ざした、知・徳・体の調和のとれた人格の育成を目標に掲げられ、校章の制定など本校の進むべき道を示されました。本校の教育方針には、「この基盤の上に、「自他の敬愛と協力」「真理と正義を愛する」「個人の尊厳を重んじる」等、人間性溢れる情操豊かな人格の育成が謳われております。

今や世の中は日に新たに月に進み、社会情勢、世界情勢の変化また激しく、科学の進歩もきわめて急なるものがあります。かかる時代に自己実現を図っていく為には、たくましい体力と不断の努力により、知識・技術のめまぐるしい変動に広い視野をもって対処し得る能力と資質の涵養がぜひとも必要であり、併せて本校教育方針の一つとされているところでもあります。

爾来10年は本校の基礎固めの時期であり、決して垣々たる道ではありませんでしたが、教職員始めPTAの方々の一致協力により、幾多の苦節をのりこえた創業の精神は、しっかりと根を張って今や清新なる本校の校風を形成しつつあります。

この精神のもと、本校で学を修め業を磨いて本校を巣立った者3,776名、今や社会の推進力として各方面に活躍しておられることは、まことに喜ばしいことであり、改めて本校をここまで育てていただいた先人達の御労苦に心から敬意を表するものであります。

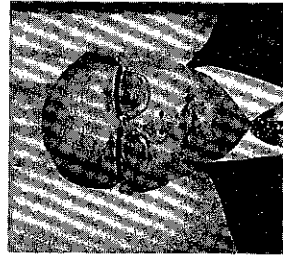
事業の如何を問わず、10年という歳月は一つの節目であります。この意義ある節に当り、「故きを温ねて新しきを知る」故事に学び、単なる回顧に流れず、自らを振り返り、新しき未来への基盤として、ここに記念誌の発刊をみましたことはまことに意義あることであります。これを契機として本校もあらためて創業の初心に思いを致し、10年間に培われた力量とよき伝統を踏まえて、次代を担う人材の育成を目指し、本校教育内容の充実発展を期すべく、教職員、生徒一体となってより一層の努力を重ねてまいりたいと存するものであります。

あらためて本校をここまで育てていただいた諸先輩の御労苦に対し、衷心より感謝を申し上げると共に、今後の本校発展のため、なお一層の御協力、御鞭撻をお願いするものであります。

創立10周年を迎えて

祝詞

歴代学校長



初代校長
森田 敏夫

昭和48年11月1日、府立清水谷高等学校の教頭でありました私が新設藤井寺高等学校の校長の内示を受けて最初の休日、文化の日のこのとです。学校の所在地と附近の環境の視察を目的に自宅を8時に出発、藤井寺駅に到着したのが午前9時40分、北へ3キロの大和川の堤防下との情報を頼りに徒歩で北進30分、大正橋の橋上に立って周囲を見廻したが、校舎らしいものは全く見当らず堤防上を西へ、倉庫らしい大きな建物が堤防下にありましたがついに校舎らしい建物は発見できずじまいでした。実は高速道路に視界を遮断されていたわけですが、当時はまだ普通教室の一部の鉄骨が組み立てただけだったのでした。

私が初めて校舎に対面したのは昭和49年の1月1日、他の新設11校の校長さん達と正式に辞令交付を受け、設立準備のため、校長、教頭、事務長3人1組30名が準備室入りして間もなしの11日のことです。

当時まで並通教室棟は外装中で、3月中旬完成はどう考えても不可能と考えられる進捗状況だったのです。そのうち、入学試験場は藤井寺工業高校と決まりましたが、4月8日の入学式はとも校舎で挙行は不可能と判断して、2月のうちに、藤井寺市の市民会館の大ホールで入学式を挙行することを市当局から承諾して載せましたが、3月下旬に至っても電線が引き込まれていません。府教委の当

創立10周年を祝って

回想

事者によると電柱（高速道路の下側を大正橋から引き込むこととしたが）の立て場が地主さんから了解されていないとのこと。大慌てで藤井寺市にお願いで、地主さんにお許しを載せ、電線の引き込み完了が4月3日、この日までに教室の内装は完了しましたが机は1脚も搬入されていない有様。4月5日午後5時頃机運搬のトラックがや々と到着したものの前日からの降雨で教室棟の手前で車がエンコし、校舎内への搬入がこれまた大変な難作業となりました。私と事務長さん、用務員さん、運転手、府教委の職員など数名が板を敷きつめた搬入路を窓越しに一脚一脚廊下まで搬び入れた600脚は忘れられない思い出でございます。

私が退任してから満6年、教職員と生徒、PTAの方々の並々ならぬご努力が現在の藤井寺高等学校を創造しえたのであります。学校の益々発展することを祈りつつ思い出の筆をおきます。

2代校長故土井善博先生に代って当時
教頭の村田義人先生よりご寄稿

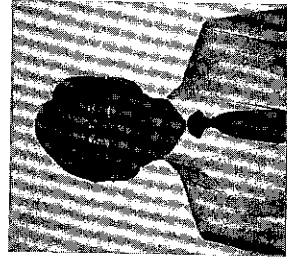


3代教頭
村田 義人
(現・府立北野高校校長)

われわれの藤井寺高校がきわめて順調な発展成長をとげ、晴れて創立10周年を迎えることのできたことを大変嬉しく思います。私の在任中もよく他校の管理職から「藤高はいいね」と羨ましがられたものですが、どんなに学校でも、学校という所は時に全く思いもかけぬことが起る所でありまして、赴任後1

創立10周年を迎えて

歴代PTA会長



初代会長
山本 義一

大阪府立藤井寺高等学校創立10周年をお祝い申し上げます。

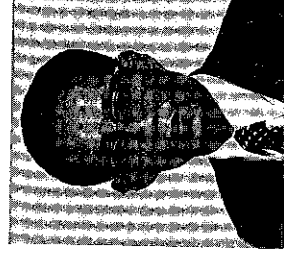
今年の3月頃、私が時々通る大和高田線松原に建築現場事務所のようなプレハブが建てられていました。しばらくしてそこを通りますと、府立××高校と書かれた看板が出ているではありませんか。私はびびりました。そして10年前の藤井寺高校のことを思い出しました。“新設高校だから最初は止むをえない”で済むのでしょうか。昭和49年の藤井寺高校の開校もまさにその通りでした。鉄筋コンクリート4階建の校舎が唯一棟。通学路はあぜ道。もちろん、運動場も自転車置場もありません。文字通り「広野の一棟」でした。そのような環境を諸先生方、生徒諸君、父兄が、なんとかして少しでも良くしていこうと環境整備に知恵を出しあい、汗を流しました。生活指導の先生の御努力、第一期生が卒業する時の進路指導の先生の御苦労を、私達は決して忘れてはいません。

先日、10周年記念打合せの為、学校を久しぶりに訪れました。そこには広々としたグラウンド、テニスコート、整備された自転車置場そして舗装された通学路があり、これが10年前のあの藤井寺高校かと思われる程でしたが毎年の入学希望者も第七学区では、常にトップであると聞いています。20周年、30周年には、府下No.1の高校になることでしょうか。私達第一期PTAの運営に関係した者として、このような充実した現在の藤井寺高校に育てあげて下さった諸先生方、各期のPTA

役員委員会の方々に深く感謝申し上げます。

「教育」これこそは、将来の日本の運命を左右します。今こそ私達は、この「教育」の重要さを認識しなければならぬときではないでしょうか。

最後に、いよいよの藤井寺高校の発展を祈って、お祝いのことばと致します。



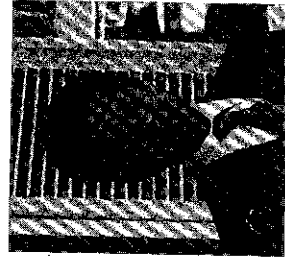
2代会長
辻本 義一

創立10周年を心からお祝い申し上げます。収容力の低い第七学区、収容率で調整校への進学より収容力をもった学校建設が先決だと、其の当時府会議員(現市長堀端宏)、市議会議員、諸先輩、市立学校園連P役員、藤井道中PTA役員の方々と、大阪府教育委員会への要望、陳情、種々な交渉によって、学校建設が確定した。建築は年次進行で完備して行くとのこと、地元藤井寺高校育成のためには、市内の優秀な中学生をより多く送れとの合言葉で、中学校では進学親子懇談会をたびたびもたれ、新設校へは優秀な先生方がご赴任されるからと、各父兄も心配なしに受験をすすめたものでした。幸い私の娘も第二期生としてお世話になったのです。しかし当時PTAは環境整備を最重点課題とし、特に第一期生のご父兄には筆舌に盡し得ない諸問題と取組まれ種々解決、整備に励まれたと、第二期目のPTA役員総会にも発表されており、私も前会長の意志を継ぎ、又PTA会員の絶大なご協力を得まして、意が無く大任を果させて頂いたのです。年次進行の中で生徒諸君も勉学に励まれ、優秀な成績で名門校へと進学、現在では立派な社会人として多方面で活

創立10周年を迎えて

は、府下第七プロックの当番校として、また府立高校PTA協議会副会長というおまけ付きの年度でありました。英語による意志伝達の基礎能力と国際感覚を身につける為にと、英国人英語指導教員が、大阪府に四人しか派遣されなかつたにもかかわらず、常駐教員としてクルックス先生を迎え、校内は全く安定し、校外での評判も年々上昇の途をたどりまさに躍進の年であつたと思えます。これらひとえに歴代の校長先生を始め諸先生方の心ごもつた御指導と、各期の生徒諸君の頑張りを、そしてPTA及び地域社会の方々のなみなみならぬ御努力のお陰だと思えます。この10周年を機に、将来の名門校を目指して益々の躍進を期待いたします。尚記念事業準備関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

事務関係

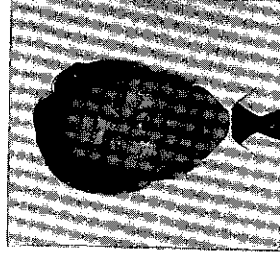


初代事務局長
斎藤 博
(現・府立蒲田林業専門学校事務長)

昭和49年4月、藤井寺市民会館を借りて第一回入学式が挙行されました日は、朝から風雨の強い日であつたことが思い出されます。あれから早や10年、創立10周年誌を発刊せられるに当り、心から喜びと感謝の意を表すものであります。思えば準備室勤務を命ぜられた当時は、鉄柱3～5本立っていただけに非常な不安を覚えたものでしたが、教育委員会を始め、森田校長先生、地元の方々の非常な御協力により漸く開校に間に合いました。また、藤井寺工業高校で入試事務等準備の御世話になり、当時の山田事務長さんには側面からのほんとは親切な御援助を賜わつたことは有難いことでした。今にして思えば、開校

当時の若しかつた事、楽しかつた事の思い出が走馬燈のように浮かんで参りまして非常に懐しく感じております。藤井寺高校の今後の益々の御発展を祈りますとともに、土地提供者の方々、建設会社の方々、並びにPTA初代山本会長さん始め歴代PTA会長・役員の方々に心から御礼を申しあげてお祝いのことばといたします。

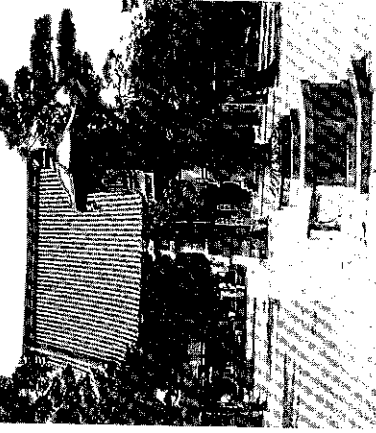
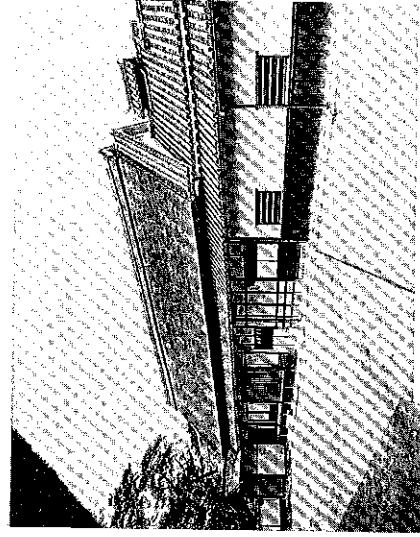
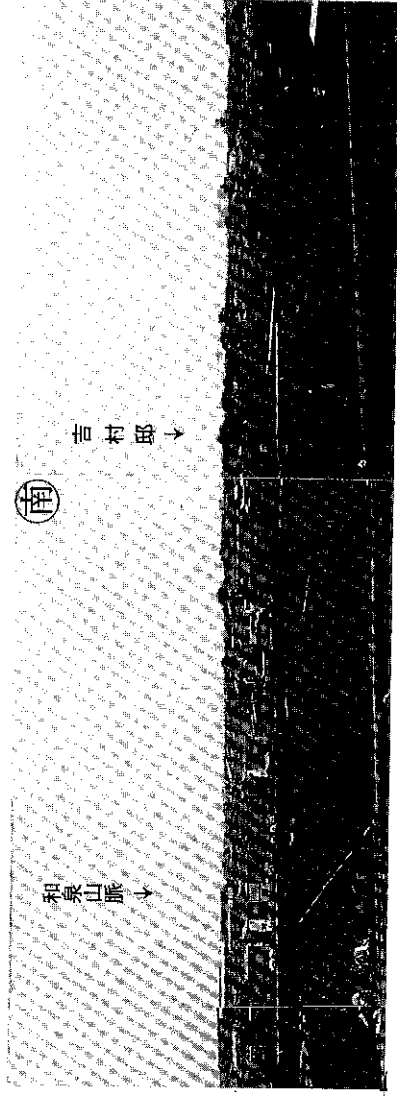
同窓会関係



同窓会会長
若林 和博

同窓会を代表して御喜びを申し上げます。「十年一昔」と言われますように、高校時代通い慣れていた道を、今、通ってみると、昔の面影を残しているものは少なく、その変わり様と新しさに驚くばかりです。しかし、体育館、プールもなく、教室も半数近くしかなかつた頃とは見違えるほどに変わってしまった高校でも、尋ねてみるとたいへん懐しく、高校時代の事を思い出します。高校時代を楽しむことは、人間の力では操ることのできない「時」を、「場所」を変えらるることによってその「時」を支配したかのような錯覚さえ覚えます。私と同様多くの卒業生の方々もそのように楽しんでおられると思います。このように私達卒業生にとつて藤井寺高校は、若き掛け替えない日々を過ごした「母なる高校」であり、発展と活躍の中で10周年を迎えられたことに本当に喜びを感じます。これからの益々の発展を期待し、卒業生として見守つていきたいと思つています。

本校をめぐる風土と歴史



▲ 重文住宅吉村邸

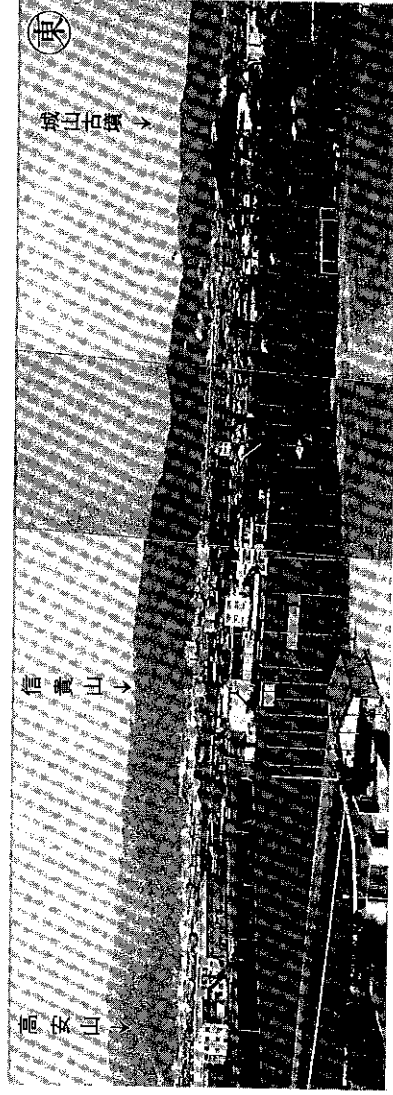
▲ 藤井寺

れている。

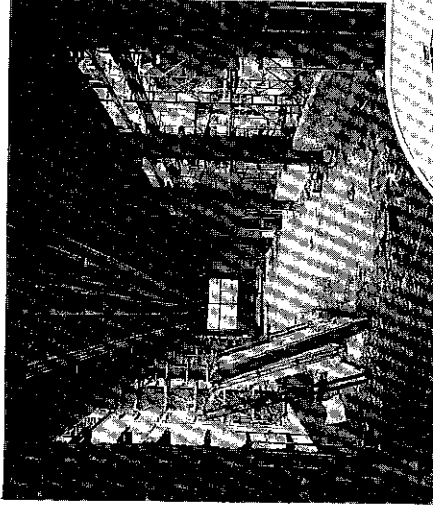
市内の国府遺跡は新石器時代以来の複合遺跡で、日本史の教科書にとりあげられる重要な遺跡である。本市の東部から羽曳野市にかけては、古市古墳群とよばれ、応神天皇陵をはじめ、我国でも有数の巨大前方後円墳の集中する地域であり、本校からも城山古墳、雄略天皇陵などを間近に望むことができる。地域の北部には条里遺構が今もあざやかに残っており、本校の校地もその一角を占めている。

本市の名のものである藤(葛)井寺は、古代の藤井氏の氏寺であり、国宝千手観音で知られ、西国五番の霊場としても多くの参拝者を集めている。また道明寺天満宮は、菅原道真ととくに縁が深い古社である。

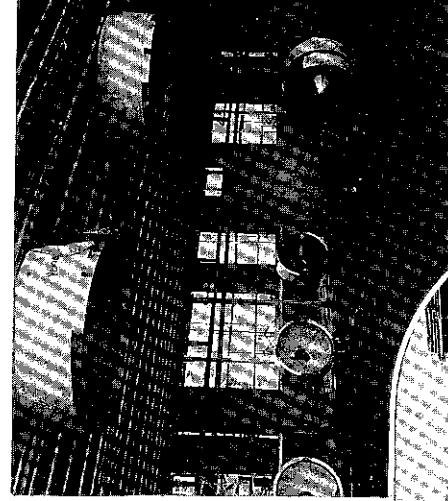
本校の南西徒歩10分ばかりの羽曳野市島泉には代表的な近世民家として知られる吉村邸がある。本校の北を流れる大和川は、江戸時代の宝永元年、中河内地方を洪水から守るため、柏原から堺にかけて、新たに築かれたものである。



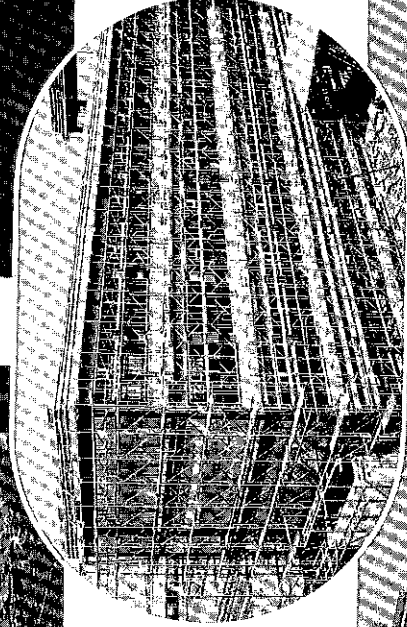
学校の沿革



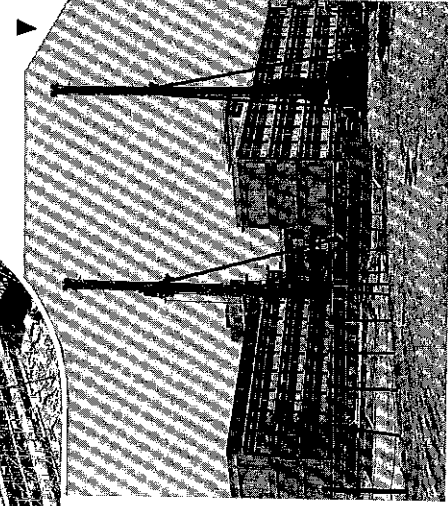
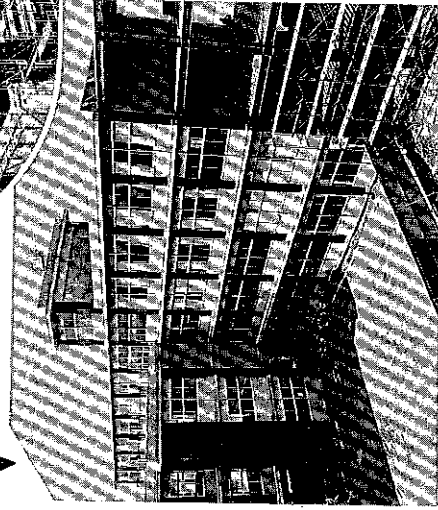
第一期工事



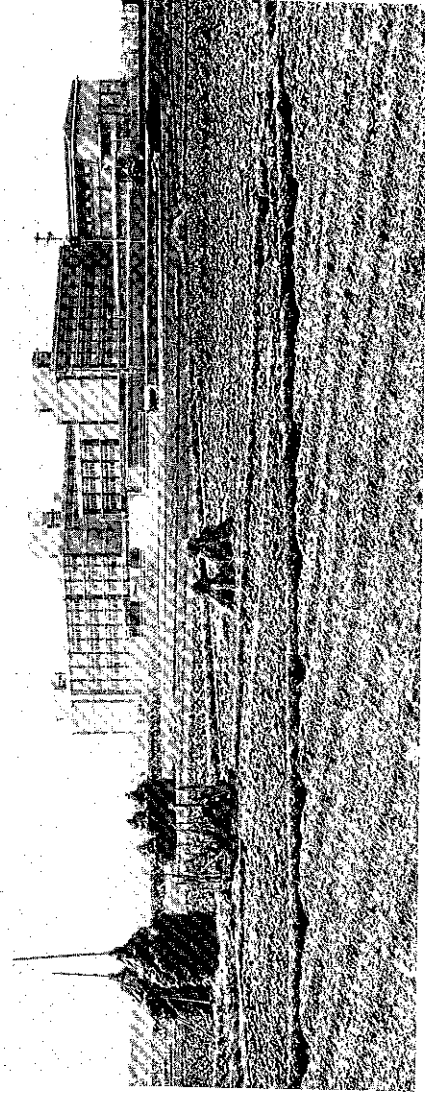
第二期工事
(昭49・5・31～昭50・2・28)



第三期工事
(昭50・6・4～昭51・2・28)



▼ 第三期工事竣工 (昭51・2・28)



学校の全景

校地校舎配置図

縮尺 0 10 20 30 40 50m

(1) 校地の概要

区分	面積	備考
校舎敷地	19,772㎡	
運動場	20,706	
その他	40,478	公簿面積
合計		

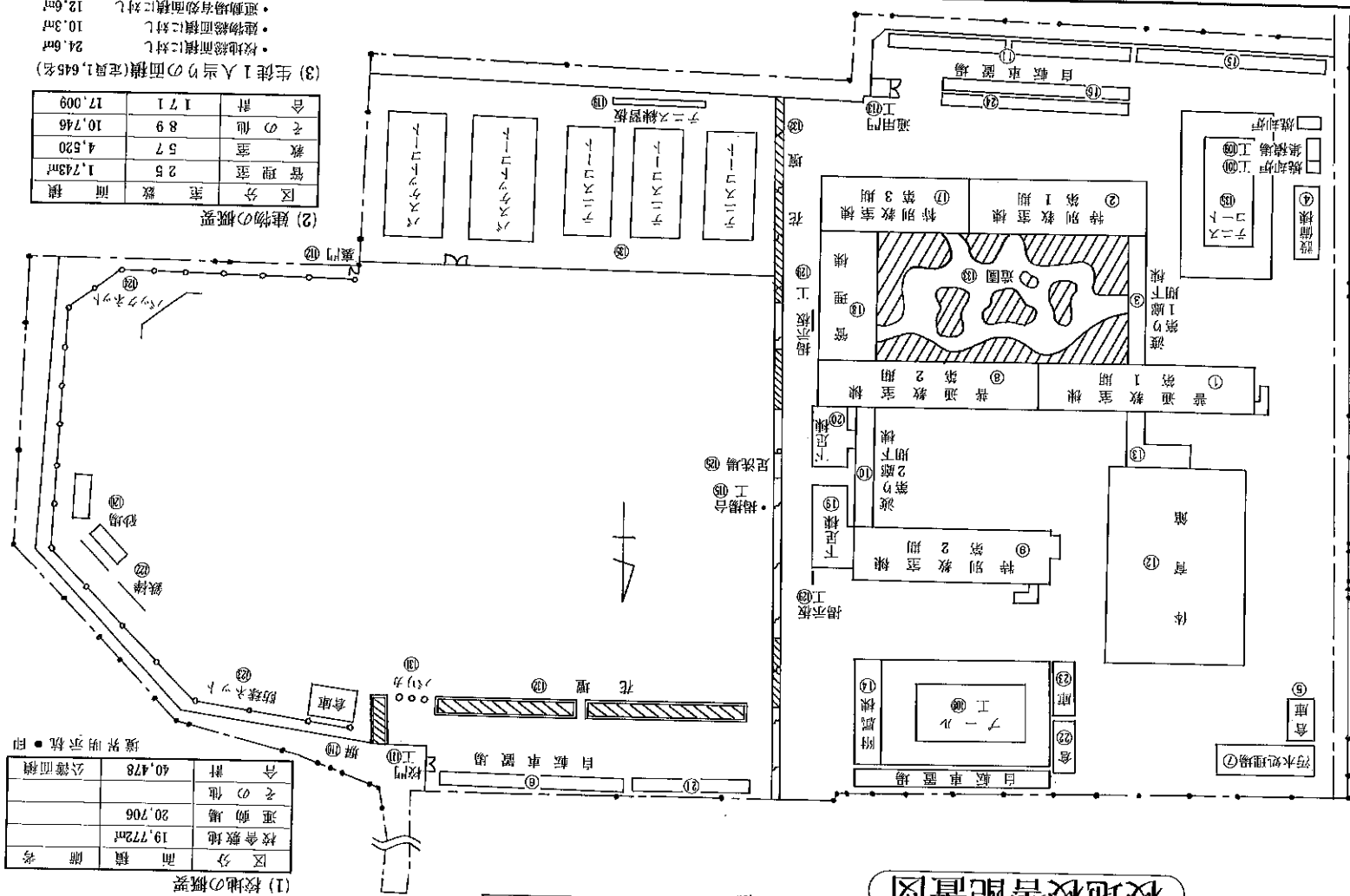
境界明示杭 ● 印

(2) 建物の概要

区分	室数	面積
管理室	25	1,743㎡
教室	57	4,520
その他	89	10,746
合計	171	17,009

(3) 生徒1人当りの面積(定員1,645名)

- 校地総面積に対し 24.6㎡
- 建物総面積に対し 10.3㎡
- 運動場有効面積に対し 12.6㎡



座談会「思い出を語る」

南 はい、そうです。いよいよ入試という



ことになり、羽曳野・長野・長野北・松原と本校の5校が全部「定員破れ」であったのはショッキングな出発でした。しかし、今、岡

原先生もおっしゃいました通り、その後順調に伸びて、現在に至りましたのは、並々ならぬ「努力」とお互いの「和」を中心に運営された「学校組織」、それが成功したのではないかと思います。

司会 有難うございます。入学式までのことに関して何かございましたら。

南 入試会場が工業高校でしたので、女子トイレがなく、技能員さんに急遽仕切りを作ってもらったり、仮設トイレを運動場の端に設置したりで、大変でした。

岡原 入試の時、生徒の間に学力差が大層ありましたね。

南 二次で入って来た生徒は、合計点も高く、ユニークな子が多かったです。

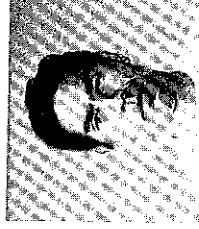
司会 入学式は、藤井寺市民会館でしたか。

南 そうです。当日、学校を生徒に見せる予定でしたが、雨が降り到底無理でした。4月8日にグラウンドができておりませんし、机も入ってなかった。晩の9時頃大きなトラック10台程で、机が到着し、雨の中、机を運びました。

秋田 10時頃までかかりましたね。

南 あれで一日使いました。全員集まって職員会議で、どんなふうにも机を4階まで上げるか考えました。

秋田 春先の雨の多い年で、長靴でなければ



登校できんという状態でした。工事現場からパネルを借りて道を作るのですが、すぐ沈んでしまい、梅雨明けまで苦労しました。

森井 今の事務室の前も水がついて、バイクは水の中を泳ぐようにして到着してしまいましたね。

秋田 開校寸前まで電気も水道も無く、家からバケツで水を運び、お茶を沸かししたりしました。

南 最初の間、生徒にも水筒を持って来させました。

岡原 遺跡が出たために校舎の位置も初期の計画から変更になり、工事が、随分遅れましたね。

橋本 授業中も工事がどんどん進行しますので、音がやかましかったです。ドカン、ドカン杭を打ち込む音が続きました。工事の都合で、数ヶ月の間に、通ってはいけない場所が、ころころ変わるんです。体育の先生など大層苦労なされたようです。ぬかるみはありませんし。

2、施設・設備

司会 施設・設備のことでは何か。

南 最初に「視聴覚室」ができ、橋本先生が中心になって一生懸命利用されていきました。「図書室」も、PTAや先生方の協力で、本が集まり、充分とは言えませんが、新設校としてはよくがんばったと

座談会「思い出を語る」

生あたりから生徒の気質も変わって来たと同っています。

石香 そうですなあ。とにかく驚きました。



机を並べて横同志で話をするので注意をすると、逆に、声を揃えてシユブレヒコールが返って来たり。しかし、この学校へ来て、今ま

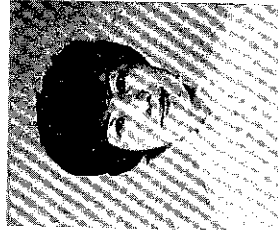
で見たことのない新しいタイプの先生を見、これも大きな発見の一つでした。生徒と四つに組んでいるという実感が湧きました。

秋田 あの当時、皆、夢中でしたな。力を合わせて「一丸」となってやらなければという事で。

森井 家庭訪問を1年間で30回以上もやりました。

小川 喫煙なども多かったが、生徒が人なごく、明るかったので、指導すれば何とかなるといふ気持で「楽しく、厳しく」をモットーにしました。

板倉 一期生で、本校を辞めていった生徒は30名弱でしたが、学校から退学させた生徒は、一人もいなかったように思います。



末広 それは、初代校長の森田先生の教育方針で、辞めさせることに反対だったからです。授業中騒いで手に負えないように見える生徒でも、こちらが本気になって声をかけると、ガ

ラツと良くなってくれた。「悪い」というのは、本性ではないのです。

石香 教師の、きめ細かな指導で、だんだん生徒も、わかってくれたのではないのでしょうか。

橋本 具体的なエピソードについて話し出



たらきりがありませんが、毎日の指導の積み重ねの中で、最後には「教師は、自分達の味方だ」ということが、気持の上で伝わったの

だと思います。

小川 「藤高を良くしよう」という雰囲気がある地域の中にも盛り上っていて、常に本校に注目しているという実態があり、我々も、地域社会・小・中学校との連携を深めるよう努めました。

司会 就職の斡旋等での御苦労は。

末広 初めての会社で紹介もなく、人事担当者と話しても新設校のイメージが強くなかなか心を開いてもらえませんでした。「この学校は他とは少し違う」と、相手が思ってくれたら、あとは押しの一手でした。オイルショックの名残りで、新設校が乗り込む余地は無かったが、とにかく、就職試験を受けさせてほしいと頼みこみました。

司会 実績作りに苦心なさったわけですね。進学面では、いかがでしたか。

南 進学状況も、それ程悪くはなかったと思います。

板倉 あのような状況の中で、いつも教室の

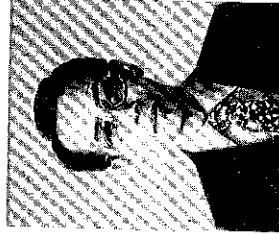
座談会「思い出を語る」

新入生に説明しています。いつ見ても何が咲いているのは、手入れの賜物ですね。

秋田 今までに府から8000本程苗木をもらって、毎日水をやり、ここまで育てましたが、2割程枯れました。

司会 事務長さんからご覧になっての御意見は。

井上 51年に本校にお世話になった時に、先



生方の熱心さに心打たれました。その意気込みが、現時点の評価につながっていると、事務サイドからみても痛感します。

7、藤高の将来

司会 西名阪下の道路も舗装され、本校のすぐ南に立派な市民球場が建設されています。このように周辺も、どんどん発展しておりますが、最後に、藤井寺高校に期待することを一言ずつお願いします。

石香 藤高の、初期の取り組みが、その後の新設校にも、大きな影響を与えていったように思います。今後とも、初心を忘れず、頑張っていたいただきたい。藤高の発展に「はずみ」をつけ、他の高校をリードして行って欲しい。

小川 その「はずみ」のつけ方ですが、単に進学校と言われるような、型どりの鍛え方ではなく、藤高なりの、生徒の個性をどうつつみ出し、どう進路指導に生かして行くかが、問題だと思います。これから先、20年後の社会は、全く予想のつ

かない世界ですが、何かユニークな発想をうち出すのに最も適した学校だと思えます。先生方には、将来の情勢を早く読みとる努力を期待します。例えば、土井校長の御努力が実って生徒相談の活動では、府下でもユニークな指導をされているように、他のモデルとなるような高校を目ざしていただきたい。

森井 今の生徒は、我々のハードな要求にも応えてくれるようになって来ています。これを前向きに、どう伸ばしていくかが今後の課題だと思います。



岡原 中学校の、本校への評価は、年々上って来ているようです。10年前とは違った意味のやりがいがあるのでは、ないでしょうか。

橋本 この学校は、私の「心の故郷」です。時代も変り、学校も変わって行くのですから、あるレベルで落ち着いてしまわず、常に新しく開発していく姿勢をもち続け発展してほしいと、心から祈っています。

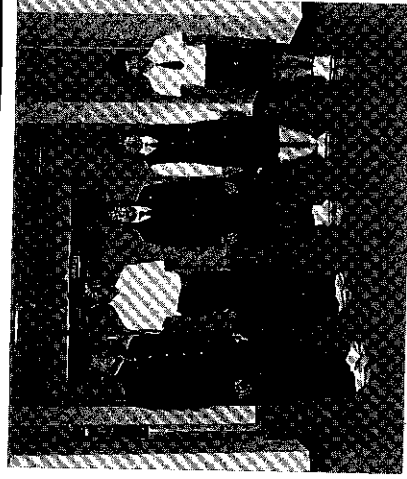
末広 藤高は、何でも新しいことに実験的に取り組むことのできる環境にあると思います。5年先、10年先を見つめて、絶えず新しいものを求めて指導していただきたい。

司会 今後とも皆さんの御指導、御鞭撻をいただきながら、一層の発展を期したいと思います。本日はお忙しいところ、本当に有難うございました。

制服

学園紛争の嵐が過ぎた直後に創設された本校では当初制服は未制定で、生徒は暫定的に中学校の制服のまま通学することになった。生徒、保護者の早く制服制定をとの強い要望により、生徒、PTA、教員の代表からなる制服制定委員会により検討がすすめられた。問題となったのは女子の制服である。当時の家庭科の清先生によるデザインをもとに広く意見をとり入れ、ようやく制服が決定された。ネクタイは夏・冬とも学園の平和と発展を表わすカラーであるグリーンに統一した。

6月1日の夏服より、真新しい制服で全員が晴々と登校できることになった。さいわい本校の制服は、生徒、父母、それに一般市民にも好評を博している。



男子制服 ⑤ 詰め袴学生服

女子制服

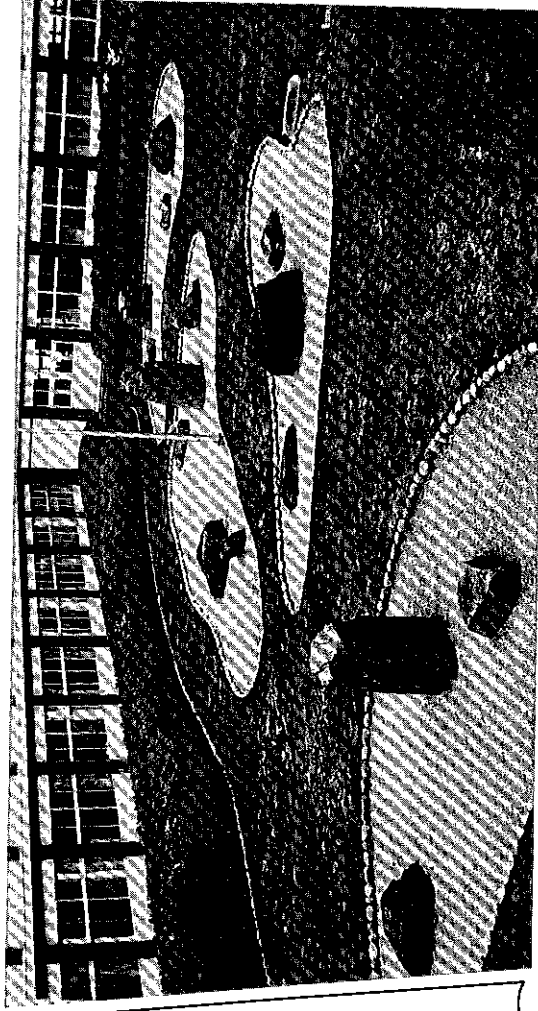
- ① (カッターシャツ(白) / ス ボ ン(黒))
- ② (ブレザー(紺) / ト(紺))
- ③ (プリーツスカート(紺) / シヤツプラウス(白) / ネクタイ(黒) (深緑))
- ④ (カッターシャツ(白) / プリーツブラウス(白) / シヤツスカー(紺) / ネクタイ(短) (深緑))

中庭

第三期工事の一環として昭和51年に完成した。初代森田校長の発案によるもので、様式は、八方正面の俯瞰庭園である。

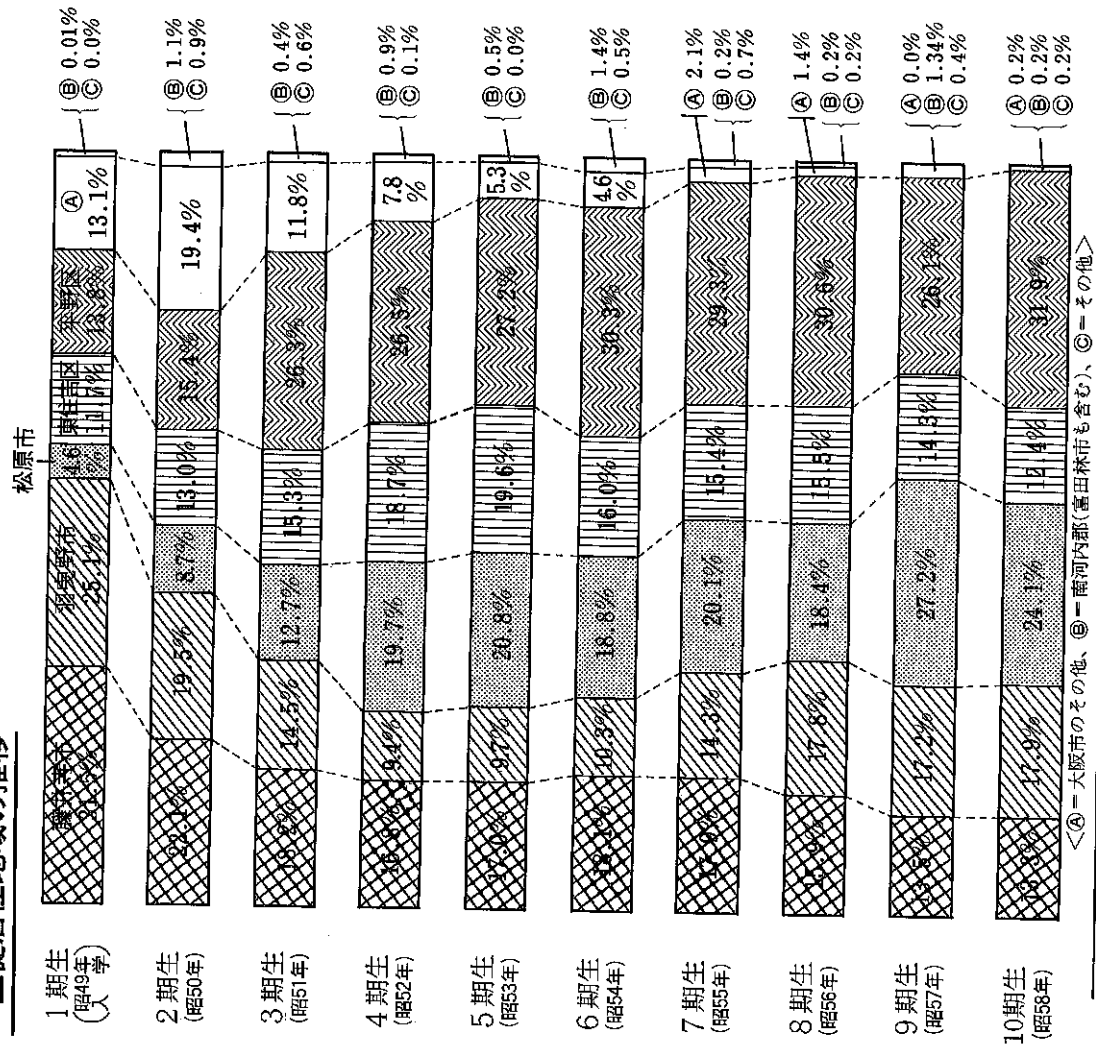
中央部分は、16個の丹波石と白川砂敷の石庭となっており、上方より見ると「心」の字となるように配置されている。石庭部の周囲には高麗芝の部分、校舎との境界部に灌木帯を配している。

灌木帯の樹種は、ヒラドツツジ、サツキ、ドウダンツツジ、シシガシラ、ジンチョウゲなどである。技師の方々の除草、剪定、消毒といった維持管理の努力のおかげで、季節に応じて、芝生の緑、美しい花々が目を楽しませ、やすらぎをもたらし、また夏のきびしい日差しを大いにやわらげ、学習環境を高める効果は、極めて大きいものがある。



校務分掌各部のあゆみ

◇生徒居住地域の推移



進路指導部

本校の最近の進路状況は、別表の通り、きわめて好調であるが、これは一期生以来今日まで変ることなく全職員及び進路指導部が共通理解のもとに、めざし努力してきた“個々の生徒の進路保障を”という目標が着実に実を結んできている結果だと言える。

1、本校の進路指導

進路指導は、全校的な協力体制の中で進められるのが建前であるが、学級担任が行う進路指導を重視し、その指導の進め方に関連して、進路指導部が援助するいわゆる学級担任

中心型をとっている。生徒達に、人間として望ましい生き方を自覚させ、将来の生活においてよりよい自己を実現させるためには、進路に対する自覚をできるだけ早い時期から持たせることが望ましいと考える。

そのために、一年時から、生徒及び保護者向けの進路説明会を継続的に持ったり、「進路の手引」や「同別冊」の配布、その他の進路情報を流すことにより啓蒙につとめている。

2、実力テストと進路資料

これまでの校内実力テストでは、出題の範囲や問題の難易度等の点で、その結果が即資

校務分掌各部のあゆみ

◇進路状況

1～7期生進路先（現役のみ）

年度	期	卒業生数	大	短大	専門学校	就職	漁人その他
昭和51年度	1期生	506名	115	70	57	115	149
		267	239	96	19	7	63
		522	88	95	71	128	140
52年度	2期生	277	245	75	13	6	89
		522	124	113	74	120	91
53年度	3期生	264	258	102	22	0	113
		538	106	115	86	135	96
54年度	4期生	270	268	87	19	5	110
		550	116	114	84	164	72
55年度	5期生	262	268	96	20	0	114
		542	97	106	96	158	85
56年度	6期生	262	280	86	11	7	99
		556	126	135	85	124	86
57年度	7期生	274	282	108	18	4	131
		3736	772	748	553	944	719
合	計	1876	1830	650	122	29	719
				238	315	386	608
				623	96		

下段数字は左男子、右女子をそれぞれ

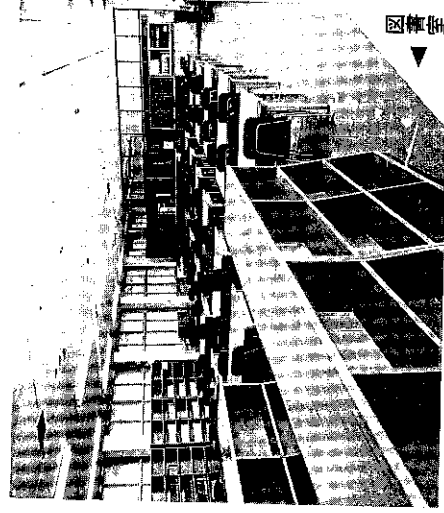
図書視聴覚部

◇図書室

創立一年目は現図書室は職員室となっており、その一角に教員の好意による数百冊の本をもとに開設された。蔵書数も十年目にして約一万冊になり、辞典類など内容も充実してきた。生徒の利用状況も年々良くなっていく。

分類別蔵書冊数（昭和58年3月末現在）

NDC1次区分類	冊数	%
0 総記	632	7
1 哲学	250	3
2 歴史	822	9
3 社会科学	458	5
4 自然科学	792	9
5 技術、工学、工業	251	3
6 産業	76	1
7 芸術	888	10
8 語学	302	3
9 文学	2,594	28
10 その他（文庫・新書）	2,050	22
合計	9,115	100



図書室

◇視聴覚

創立1年目、現視聴覚教室は音楽室として使用されており、視聴覚教室としての整備は3年目の昭和51年度よりはじめられた。16喇叭、8喇叭、それにビデオ装置を中心に現在では付下有数の設備を所有するに至り、利用率も高い。

蔵書冊数の推移

年度	蔵書冊数
49	1,273
50	2,661
51	3,225
52	4,019
53	5,019
54	6,031
55	7,058
56	8,122
57	9,115

◇進路指導計画

下記の如く進路活動年間行事計画にもとづき、きめ細かい指導を行う。

- 4月 第一回進路調査（4月…2・3年生、12月…1年生）
- 5月 PTA総会にて卒業生進路状況説明
- 6月 大学、短大、専門学校説明会（保護者、生徒）
- 適宜卒業生との懇談会（就職、進学）
- 7月 就職講話（保護者）
- 5月～9月 就職講習
- 5月～12月 進学者向け講習
- 適宜進路の手引、しおり等の配布
- 9月 就職希望者に対して面接指導
- 10月 大学入試情報にもとづく、入試説明会
- 適宜保護者懇談会
- 11月 第二回進路調査（2年生）

校務分掌各部のあゆみ

昭和57年度保健室利用回数人数

(内科的疾患のみ)

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10以上	計
人数	367	185	85	36	18	10	7	4	3	7	722

来室回数で最高者は64回であった。年々このような生徒が増えてきている。

昭和57年度保健室利用状況

1	感冒	413	12	めまい	19
2	腹痛	273	13	じん麻疹	9
3	頭痛	253	13	腰痛	9
4	気分不良	122	15	歯痛	8
5	悪心・嘔吐	106	16	眼科疾患	5
6	脱力感・倦怠感	97	16	頭痛	5
7	生理痛	86	18	呼吸困難	3
8	胃痛	74	18	耳鼻科疾患	3
9	下痢	30	20	過呼吸症候群	2
10	神経症	27	21	心悸亢進	1
11	貧血	21	22	その他	35
1	すり傷	106	8	水疱	18
2	打撲	97	9	鼻出血	12
3	つま指挫傷	78	10	刺傷	10
4	捻挫	61	11	骨折	5
5	目の異物打撲	46	12	脱臼	4
6	関節痛・筋肉痛	36	13	脳しんとう	3
7	切傷	35	14	その他	67

身体状況

	男子	女子					
身	区	51年	54年	57年	51年	54年	57年
	本校平均	167.1	168.7	167.8	167.8	156.2	157.7
	大阪平均	166.9	167.3	167.7	156.5	156.7	157.1
長	区	51年	54年	57年	51年	54年	57年
	本校平均	166.3	166.7	167.3	155.7	156.1	156.6
	大阪平均	168.5	168.9	169.4	157.3	157.6	157.2
体	区	51年	54年	57年	51年	54年	57年
	本校平均	168.1	168.6	169.0	156.2	156.5	156.9
	大阪平均	168.5	170.5	170.0	157.2	158.0	157.2
重	区	51年	54年	57年	51年	54年	57年
	本校平均	169.0	169.7	170.2	157.5	156.8	157.5
	大阪平均	169.1	169.4	169.7	156.3	156.6	157.1
脚	区	51年	54年	57年	51年	54年	57年
	本校平均	55.0	58.8	58.2	49.5	50.9	51.4
	大阪平均	56.1	56.3	57.0	50.5	50.6	51.0
囲	区	51年	54年	57年	51年	54年	57年
	本校平均	55.8	56.4	57.1	50.7	51.0	51.7
	大阪平均	56.5	59.0	60.5	51.1	52.1	52.1
脚	区	51年	54年	57年	51年	54年	57年
	本校平均	57.6	58.9	59.0	51.6	51.0	51.6
	大阪平均	58.0	58.8	59.2	51.9	51.9	52.2
囲	区	51年	54年	57年	51年	54年	57年
	本校平均	59.2	61.3	61.8	51.4	52.5	52.4
	大阪平均	59.5	60.3	60.5	51.8	51.7	51.7
脚	区	51年	54年	57年	51年	54年	57年
	本校平均	59.4	60.2	60.6	52.2	52.0	52.3
	大阪平均	81.1	82.5	80.7	81.4	79.7	79.7
囲	区	51年	54年	57年	51年	54年	57年
	本校平均	82.5	81.9	82.2	80.0	80.2	80.0
	大阪平均	82.4	82.3	82.6	80.7	80.6	80.9
脚	区	51年	54年	57年	51年	54年	57年
	本校平均	82.6	83.1	82.5	82.1	80.5	79.8
	大阪平均	83.8	84.1	84.0	81.0	80.8	80.4
囲	区	51年	54年	57年	51年	54年	57年
	本校平均	84.2	84.3	84.3	81.5	81.3	81.5
	大阪平均	84.5	84.9	84.2	82.3	81.1	80.3
脚	区	51年	54年	57年	51年	54年	57年
	本校平均	84.6	85.3	85.4	81.0	81.5	80.8
	大阪平均	85.6	85.8	85.7	81.9	81.7	81.7

生徒指導部

創立当初は、生徒も校舎建業のツチ音、を聞きながらの学校生活で、学習面、運動面でいろいろと苦心をした。創設期は、特に、生徒指導の役割が重要で、本校の目標も、基本的な生活習慣の確立、自主的活動の育成などを中心に、全職員一致して、生徒指導に取り組んできた。

生徒指導部は担当部門が広く、生徒指導、ホーム・ルーム、生徒会、部活動、教育相談など多岐にわたっている。問題生徒の指導にあたっては、その生徒の問題点を適確にとらえ、充分な配慮と愛情をもって生徒を理解し指導している。また、最近の傾向として、精神的心理的な面で学校生活への不適応を示す生徒もみられ、本校でも、数年前より相談室を開設し、積極的に取り組んでいる。

今後とも、規律ある学校生活の中で、生徒の自主的活動を尊重しつつ、楽しい学校づくりをめざしたい。

目的

生徒会

生徒会員の自主的精神に基づいた相互協力により、学校生活を実り多いものにすることを目的とする。

この目的達成のために次の活動を行う。

1. 文化・体育活動の振興、学校行事への協力
2. 学校生活の明朗化促進
3. 会員の福祉増進

(生徒会則第3条より)

教育相談

相談室は、主として不応症状態を示す生徒を中心に、その対応指導のあり方を模索しながら活動してきた。生徒のおかれた事情の複雑さを理解することを出発点とし、同時にこれを目標にして、ケースワーク的な情報収集、教員相互の協力推進、そして、度々の事例会議等を重ねてきた。試行錯誤もあり充分であつたとも言えまい。いまだ模索の段階といえる。

昭和53年度

- 生徒指導部に相談係を設置。係員6名。
- 生徒も落ち着き、生徒指導にも工夫が必要であるという主旨。
- 1年生へPAI実施・教科準備室等を相談室に当てる。

○相談室内のプリントを生徒へ配布。

- 自主来談を促す一方、不登校生の相談、懲戒生徒への事後指導に当る。

昭和54年度

- 兼任を避ける方向で係員4名。

昭和55年度

- 4月— 不応症、不登校生徒が増えてきたため、54年度の校内実態調査実施。
- 5月— 保健部、生徒指導部、同和教育推進委員会主催で職員研修実施。「不応症生徒への指導のあり方をどうするか」保健室、同和推進委員との連携を強め指導のあり方を模索する。

10月— 職員研修“精神医学講演”

湖南病院院長 木田孝太郎

昭和56年度

- 4月— 独立した「相談室」を設置。生徒指導部(6名)、保健部(2名)、進路指導部(1名)、それぞれ相談室員と相談室を運営。室長は室員の互選。
- YG検査(全学年)及びYG相談の実施。

昭和57年度

- 4月— YG検査及びYG相談の実施(1.3年)
- 7月— 職員研修 相談室主催
「生徒事例の報告と研究」



開校前年度に登場した必修クラブの扱いは校舎等完成途上の本校にとって難題であった。その後、幾多の変遷を経つつも必修クラブの目的達成に向って前進しつつある。

昭和49～50年度 部活動と一体化した形で実施。

昭和51～54年度 部活動中心に、必修クラブ独自のものを上乘せして実施。

昭和55年度 学級単位で活動する講座ローテーション方式で実施。

昭和56～58年度 過去の経験と反省のうえにたち、活動可能な場所で内容を精選した形での部活動中心にした上乘せ方式で実施。

昭和49年度必修クラブ

体育系	バスケットボール、バレーボール、ハンドボール、軟式テニス、バドミントン、卓球、陸上競技、柔道、サッカー
文化系	文芸、演劇、写真、茶華道、書道、美術、音楽、数研、英研、園芸、手芸

昭和58年度必修クラブ

体育系	ゴルフ、柔道、バレーボール、野球基礎トレーニング、男子硬式テニス、女子硬式テニス、ジョギング、剣道、男子バスケットボール、女子バスケットボール、トランポリン、バドミントン、サッカー、ソフトボール、ラグビー、軟式テニス、フンドーフォール、YOGA
文化系	数学補習、古代史、数理研究、SEY、文芸、囲碁、朝鮮文化研究、箏曲、男子料理、地理、フランス語入門、英語なんでも、華道、電気工作、マイコン入門、近代詩研究、将棋、小説文学創作、茶道、書道、数学教室、映画鑑賞

校務分掌各部のあゆみ

歴代PTA役員一覧

年度 役名	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58
会長	山本義一	山本義一	山本義一	辻本義一	広嶋昭三郎	広嶋昭三郎	広嶋昭三郎	辻本 肇	高田昌亮	杉本邦男
副会長	寺田一之	寺田一之	寺田一之	大松隆藏	北口茂良	北口茂良	辻本 肇	高田昌亮	安井将浩	笠原純英
書記	竹綱逸子	竹綱逸子	木村一雄	北口茂良	明瀬歳治	明瀬歳治	山口 弘	吉野富子	杉本邦男	喜多隆介
会計	木村一雄	赤松政雄	赤松政雄	永井克巳	赤松政雄	永井克巳	赤松政雄	永井克巳	永井克巳	永井克巳
監査	北口茂良	北口茂良	北口茂良	北口茂良	北口茂良	北口茂良	北口茂良	北口茂良	北口茂良	北口茂良
企画	坂東貞雄	坂東貞雄	坂東貞雄	坂東貞雄	坂東貞雄	坂東貞雄	坂東貞雄	坂東貞雄	坂東貞雄	坂東貞雄
環境	永井克巳	永井克巳	永井克巳	永井克巳	永井克巳	永井克巳	永井克巳	永井克巳	永井克巳	永井克巳
進路	古岡 清	古岡 清	古岡 清	古岡 清	古岡 清	古岡 清	古岡 清	古岡 清	古岡 清	古岡 清
生活	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子
文化	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子
保健	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子	川出充子
1年	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子
2年	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子
3年	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子	赤部アヤ子

◇年間の主なPTA事業(昭和57年度)

57年	4月8日	PTA入会式・会長選出委員会	30日	芸能鑑賞会	23日	第7ブロックPTA協議会総会
	18日	「PTAだより」29号発行	7月3日	PTA保健委員会	29日	2年PTA集会(教育課程)
	23日	会長選出委員会	9日	3年PTA集会(就職説明)	11月5日	1年PTA集会
	5月14日	実行委員会	9日	実行委員会	14日	PTA委員研修会
	19日	府立高校PTA研究会集会	16日	府立高校PTA協議会総会	22日	府立高校PTA指導者研修会
	19日	府立高校安全互助会総会	16日	府立高校安全互助会総会	26日	3年PTA学年委員会
	22日	PTA定例総会	20日	PTA新聞「育友」第10号	12月3日	府立高校PTA協議会総会
	6月4日	3年PTA集会(進学説明)	9月3日	PTA文化委員会	1月21日	実行委員会
	8日	藤高フェスティバル「体育の部」	3日	実行委員会	2月18日	府立高校PTA研究会集会
	9日	同和教育講座参加	13日	PTA保健委員会	2月18日	加
	15日	PTA委員総会(全体・学年・専門委員会)	16~19日	藤高フェスティバル「PTA作品展」準備と展示	26日	PTA新聞「育友」第11号
	19日	第7ブロックPTA協議会	10月10日	PTA保健委員会	26日	発行
			18日	実行委員会	26日	PTA会長選出委員会
					3月26日	PTA会長選出委員会

校務分掌各部のあゆみ

える。2年「学級集団づくりと人権学習」をメインテーマとしてLHRを実施し、その指導にあたって教職員も研修を深めるというスタイルが定着し始めた。(55年度いじめ防止・いじめられっ子の問題、56・57年度障害者問題、57年度国際化社会と在日外国人問題)さらに、年々変化する生徒の意職に対応できるよう意識調査を実施し、同和地区生徒、外国籍生徒の卒業後の進路保障についても追跡調査を行なう等指導の充実をはかっている。

Ⅲ 本校の同和教育は、国及び府の同対審査申、大阪府同和教育基本方針に基づき、以上の推移を踏まえて、①生活全般の中から差別を許さない人権尊重の態度・精神をもった生徒を育成する。②被差別・困難状況下の生徒に対し、教職員相互の協力を背景に、担任を中心としたきめ細かい指導を展開し、高卒としての力を身につけさせる方向で、今後とも一層の充実を期している。

食堂委員会

食堂委員会は、職員・生徒会・PTAの代表によって構成され、業者との値段交渉、利用に関する諸問題を検討してきた。利用者の割に食堂収容席が少ないのが難点。57年度卒業生から屋外テントが寄贈され、利用者も多く、好評である。

食堂献立値段のうっかりかわり

献立	昭和50年9月	昭和54年4月	昭和57年4月～
ごはん	200円	230円	250円
カツカレー	200円	230円	250円
オムライス	200円	230円	250円
カツ丼	200円	230円	250円
弁当	200円	230円	250円
カレーライス	150円	180円	200円
やきめし	150円	180円	200円
玉子丼	150円	180円	200円
ライス	60円	70円	80円
天ぷらうどん	100円	120円	130円
きつねうどん	100円	120円	130円
カレーうどん	100円	120円	130円
ラーメン	100円	120円	130円
焼きそば		200円	200円
冷め		230円	250円
ジュース	50円	60円	60円
牛乳	50円	60円	60円
その他	50~80円	50~80円	70~100円

◆主な同窓会事業

- 昭和52年度～昭和58年度
役員・幹事(年5～10回)
総会(定例毎年1回、8月)
各期懇親会(8月) } 卒業年度のみ
各期名簿発行(8月)
会報発行(53年創刊号、54年2号、55年3号、58年記念特集号)
- 開校10周年記念事業(昭和58年度)
記念植樹「藤棚」(校内食堂前)
記念品「コーヒーカーップ」(教職員へ)
同窓会報「特集号」発行(8月)
記念式典及懇親会(1～7期生)(11日)

同和推進委員会

Ⅰ 昭和49年度～52年度
新設校としての出発の時期においては、生徒の問題行動が多発したが、それらの生徒に対する日々の、きめ細かい教育実践が、そのまま同和教育の視点を内包していたと思われ。この時期に、教職員研修では、松原三との交流・差別の現実から学ぶ(49年度)、部落史の学習(49・50年度)によつて基礎的学習を始め一方、生徒に対しては意識調査を実施(50年度)し、生徒の実態把握に努め本校同和教育の実践を検討し始めた。51年度には、初めての卒業生を送り出すにあたり、「就職差別・統一用紙の意義」を研修し、3年生のLHRを実施した。以後、3年では進路と関連させての同和HRのスタイルが定着した。52年度には、府下での差別言動の実態や指導をめぐつて教職員研修を行ない、鶴見橋中学の先生を講師として招聘し同校の同和教育実践についても学んだ。また、在日朝鮮人問題についての研修も行った。この間、学習到達度の低い生徒に対する指導法に関して討論と実践が継続された。こうした取り組みを通して52年頃には、同和教育に対する教職員の共通理解が出来上って来たと言える。

Ⅱ 昭和53年度～現在
この頃より、1年「身近な人権問題から考

思い出の学校行事

新入生宿泊研修

第1回（第3期生）は昭和51年4月に実施。入学まもない新入生が、一刻も早く学校生活の理解を深め、円滑に高校生活をスタートできるように、生徒指導部・学年の協力により2泊3日の日程で実施したものである。

◆主な内容

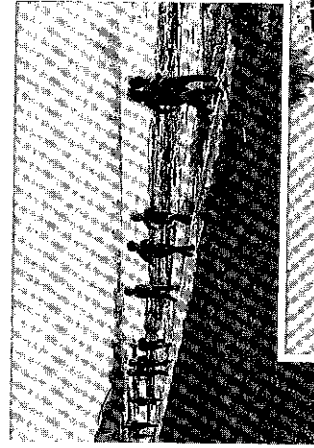
- 集団訓練・野外活動・喫煙防止映画・生徒指導部、進路指導部、教務部などのガイダンス・同和問題・親睦のためのレクリエーション・学校行事の紹介など。
- ロングホームルーム・学習指導……（第3回以後から重点に置く）

◆実施場所

- 昭和51年度（第3期生）～昭和54年度（第6期生）……和歌山県串本町「ホテル浦島」
- 昭和55年度（第7期生）～昭和57年度（第9期生）……三重県鈴鹿市鈴鹿サーキット

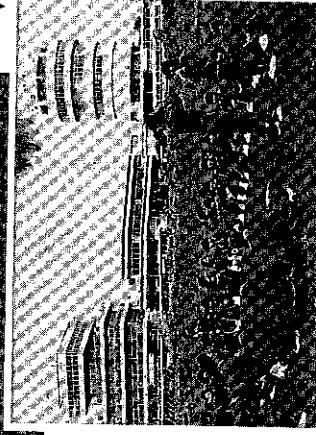
内ホングダ研修センター

昭和58年度より、過去7回の反省の上により、中止となる。



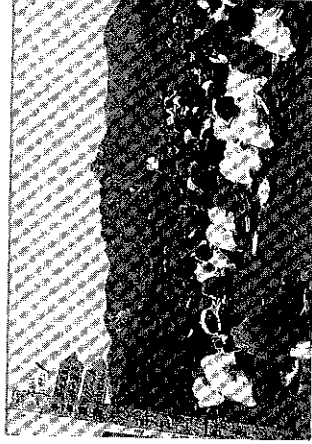
朝のランニング

ミーティング



串本

(昭51) (昭54)

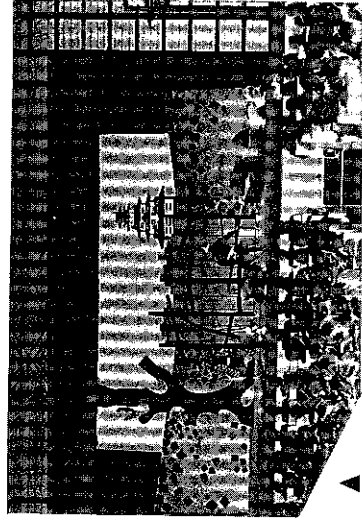


入道ケ岳

鈴鹿

(昭55) (昭57)

芸能鑑賞



▲「大阪城の虎」(関西芸術座上演、昭54・11)

芸能鑑賞の記録

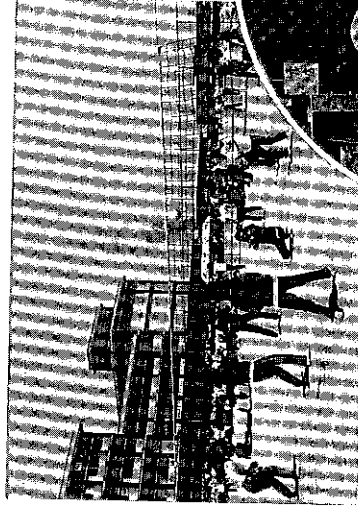
- 昭和50年5月 藤井寺市民総合会館
映画鑑賞 「チャップリンのキッド」「故郷」
- 昭和51年5月 梅田OS劇場
映画鑑賞 「太陽にかける橋」

- 昭和52年5月 藤井寺市民総合会館
映画鑑賞 「チップス先生さようなら」
- 昭和52年11月 藤井寺市民総合会館
演劇鑑賞 「狐とぶどう」 京芸
- 昭和53年11月 藤井寺市民総合会館
音楽鑑賞 「大阪市音楽団吹奏楽」
- 昭和54年11月 藤井寺市民総合会館
演劇鑑賞 「大阪城の虎」 関西芸術座
- 昭和55年5月 藤井寺市民総合会館
演劇鑑賞 「熱海殺人事件」 卒塔婆小町
本校体育館
- 昭和55年11月 本校体育館
狂言鑑賞 「萩大名」「千鳥」
- 昭和56年11月 厚生年金ホール
歌舞伎教室 「悪太郎」 片岡秀太郎
- 昭和57年6月 藤井寺市民総合会館
演劇鑑賞 「11ぴきのねこ」 京芸
- 昭和58年5月 朝日座
文楽教室 「壱坂観音霊験記」

思い出の学校行事

校内球技大会

校内球技大会は、昭和49年12月生徒体育委員会を中心に、第1回としてサッカー・バレーボールが実施されて以来、生徒諸君の楽しい行事の1つである。年々盛りあがりを見せ、最近ではバレーボール・バスケットボール・ソフトボールを中心に実施されている。



▲ 校内球技大会 (昭56・6)

スキー教室

冬期行事の主役「スキー教室」は、昭和49年度第1回実施以来、各種の生徒参加行事の中でも大変人気の高い行事として、今日に至るまで続けられている。

この背景には、近年のスキーブーム、高速自動車道の発達その他、昭和53年度(4期生)より、修学旅行として「スキー研修旅行」が実施されていること等が挙げられる。また、大阪では接し得ない白銀の世界の素晴らしさ、スキーの楽しさが実感として参加者の心をとらえ、それらが1年生へも行事紹介等の中で口コミとして伝えられて来たことも、大きな理由に挙げられるであろう。

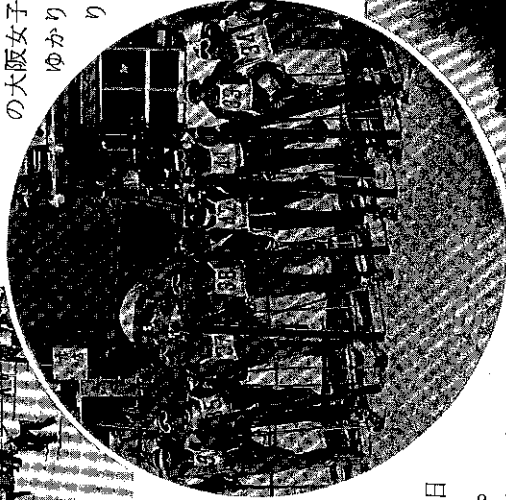
◆実施場所

- 昭和49年～51年度 野沢温泉スキー場
- 昭和52年・53年度 ワラビ平スキー場
- 昭和54年・55年度 志賀高原横手山スキー場
- 昭和56年度 ワラビ平スキー場

長距離走大会

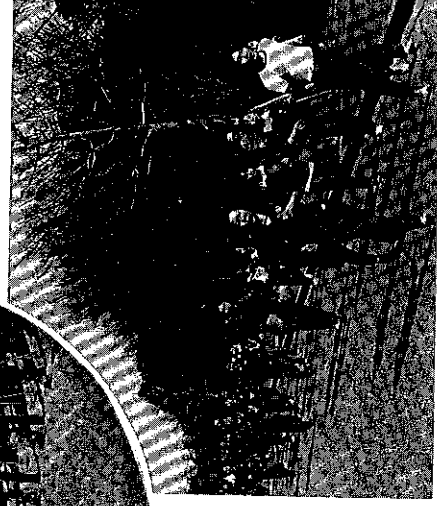
金剛山雪中登山・夜行軍等様々な方法が検討された耐寒訓練として、昭和50年度に学校の運動場を発着とする「校内長距離走大会」が計画・実施された。そして、運営上の諸問題(交通等)を解消するため昭和53年度より長居競技場に舞台を移し、現在では男子約10km、女子約6.5kmの距離で実施されている。

毎年2月初旬の恒例行事となったこの大会のため、体育の授業での長距離走・健康チェック等が綿密になされ、記録も徐々に向上している。例年先生方の参加も活発であり、近年のジョギングブームに加えて、58年1月末の大阪女子マラソンに、6期生の加藤ゆかりさんが完走したこと等もあつた。



▼ 長距離走大会
(長居競技場、昭57・2・5)

▲ スキー教室
(野沢温泉スキー場、昭52・12)



昭和57年度(雪不足で中止) ワラビ平スキー場を予定

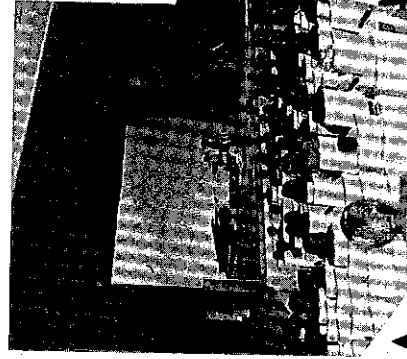
各スキー場ともそれぞれ特色があり、施設面では良い面があり成果はあった。しかし、ゲレンデの積雪の不安定、実施時期、授業日数等の諸問題が実施にあたっての今後の課題ともなっている。

藤高フェスティバル

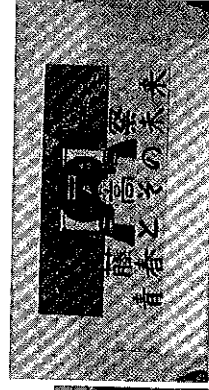
文化の部

藤高フェスティバル文化の部の華やかさ、賑やかさは有名である。昭和51年度に、生徒会が生徒から名称を募って決定したのが現在の名称である。昭和49・50年度は、文化発表会という名のもとに、開催され、初年度はすべて他校並みにとり、開催され、生徒の要望で、藤井寺市民総合会館で開催した。クラスの演劇が大ホールで、文化系クラブ・PTA展示等がホール及び会議室で開催された。1学年(54名)だけの発表会であったにもかかわらず、既設校に負けるなどという意気込みがみられた。体育館が完成した3年目より、テーマをかか

げ、それにそった内容で取り組んだ。2期生の提案で生徒会が協力する盆踊りもスタートした。当初は提案者たちが呼びかけても一般生徒の関心は薄く、20名程度の参加といった状態であり、現在のように盛り上がった盆踊りは想像すらできなかつた。昭和52年度には背中に「祭」の文字を書いたオゾンドックスなデザインのはっぴ、を数人が着て盆踊りに登場。これが現在のはっぴブームの先駆けである。教室での展示、体育館での劇やショー、視聴覚教室での音楽会、また各種の模擬店といったスタイルが定着するようになった。今では、約3500名の一般入場者を集めるほど、地域でも人気の高い行事となってきた。



▲ 第1回文化祭(藤井寺市民総合会館、昭49・11)

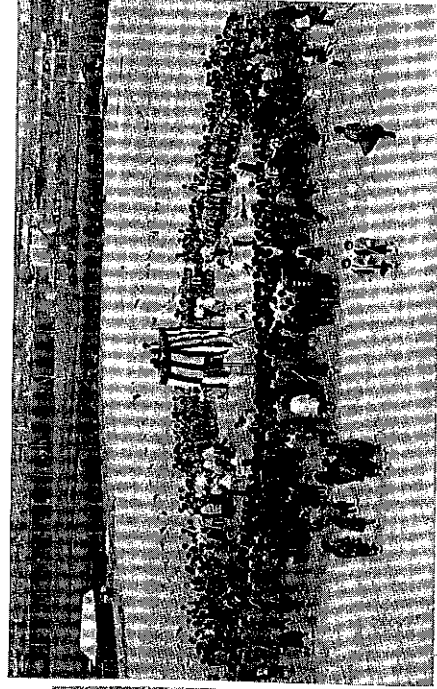
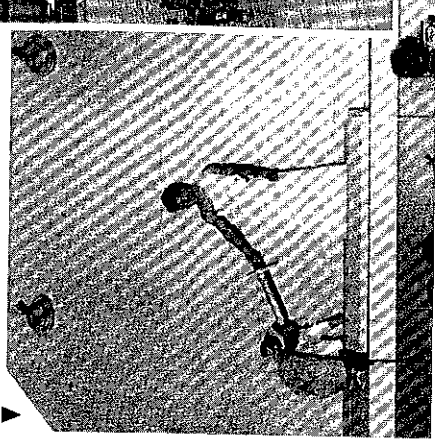


▲ アーチ(昭54・9)



▲ 美術部展示室(昭54・9)

▼ 演劇発表(昭55・10)



▲ 盆踊り(昭57・9)

思い出の学校行事

3 期生

(昭53. 3. 20~3. 23)
九州3コースの旅

- A班 平戸コース
- ％ 新大阪駅ー博多ー平戸(泊)
 - ％ 平戸をベースに各クラス毎に学習活動ー平戸(泊)
 - ％ 平戸ー西海橋ーグラバー園ー長崎(泊)
 - ％ 長崎ー平和公園ー博多ー新大阪駅
- B班 長崎コース
- ％ 新大阪駅ー博多ー西海橋ー長崎(泊)
 - ％ 長崎市内学習活動ー長崎(泊)
 - ％ 長崎ー平和公園ー雲仙ー島原(泊)
 - ％ 島原~~~~三角ー水前寺公園ー博多ー新大阪駅
- C班 熊本コース
- ％ 新大阪駅ー博多ー太宰府ー熊本(泊)
 - ％ 熊本市内学習活動ー熊本(泊)
 - ％ 熊本ー阿蘇ー草千里ー黒川温泉(泊)
 - ％ 黒川温泉ー青の洞門ー小倉ー新大阪駅

4 期生 → 8 期生

スキー研修旅行(毎年2月末~3月初)

(場所) 長野県下高井郡志賀高原熊の湯横手山スキー場
(宿舎) 硯川ホテル

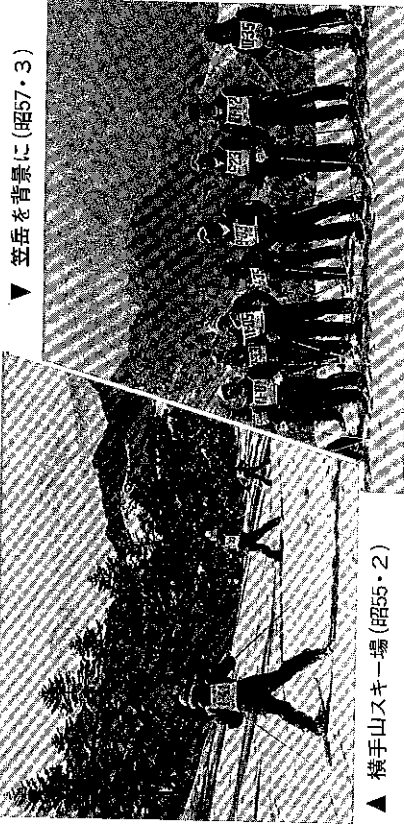
行動予定表 (6期生)

第1日	2月27日(金)
7:00	集合ジャスコ前
7:30	出発
9:00	上野D.I
12:00	恵那峡S.A
12:30	昼食
3:00	松本D.I
7:00	硯川ホテル着
8:00	夕食
8:00	スキーウェア、ソリ
10:00	点呼就寝

第2日	2月28日(土)
6:30	起床
7:00	開校式、朝食
9:00	準備
9:00	班別による実習
11:00	昼食
12:30	昼食
1:00	班別実習
3:00	入浴
5:00	夕食
6:00	更衣室
7:00	ミーティング
8:00	(1~6組)
9:00	演習会
10:00	点呼就寝

第3日	3月1日(日)
7:00	起床
7:30	朝食
準備	
9:00	班別実習
11:00	昼食
12:00	昼食
1:00	班別実習
3:00	入浴
5:00	夕食
6:00	室長会議
7:00	ミーティング
8:00	(7~12組)
9:00	演習会
10:00	(1~6組)
	点呼就寝

第4日	3月2日(月)
7:00	起床
7:30	朝食
準備	
9:00	班別実習
11:00	昼食
12:00	昼食
1:00	班別実習
3:00	出発準備
5:00	夕食、開校式
6:00	乗車
6:30	出発
7:00	
10:00	松本D.I



▼ 笠岳を背景に(昭57・3)

▲ 横手山スキー場(昭55・2)

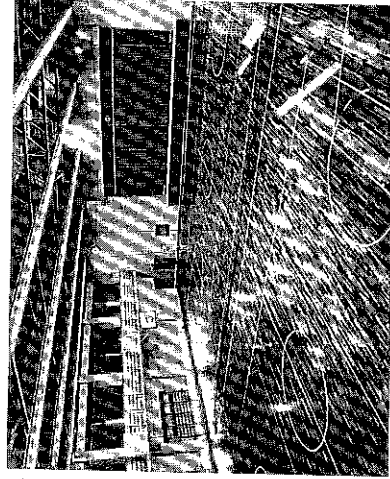
第5日	3月3日(火)
AM. 2:00	恵那峡S.A
5:00	上野D.I
6:00	ジャスコ前着
30	解散
10:00	松本D.I

こんなこともありました

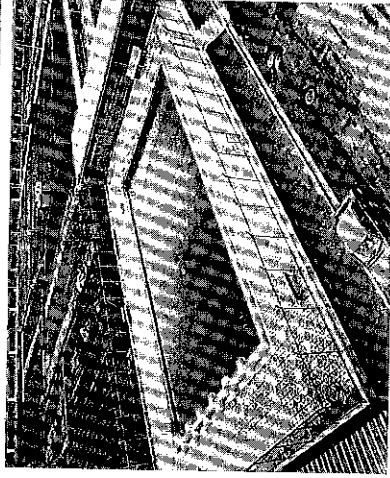
待望の体育館・プール完成(昭和50年度)

待望の25m プール、体育館(2階)柔道室、剣道室、食堂(1階)が完成し、プールは夏休みから、体育館は2学期から、授業、必修クラブおよび部活動において使用された。完成を祝して7月19日にはプール開きが行なわれ、初芝高校水泳部を招待し、模範泳法を披露してもらった。

また9月1日には体育館開きが行なわれ、天理大学女子バレーボール部、大阪体育大学器械体操部、初芝高校器械体操部を招待して模範試合、演技が行なわれた。



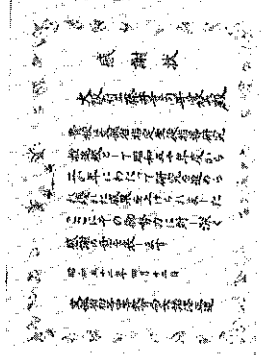
▲ 体育館(昭51・12・17)



▼ プール(昭51・12・17)

文部省指定生徒指導研究推進校となる(昭和50・51年度)

文部省の生徒指導研究の指定校となり、「無気力、無関心な生徒や問題行動に走りやすい生徒に対し、学校生活に親しみを持たせ、学



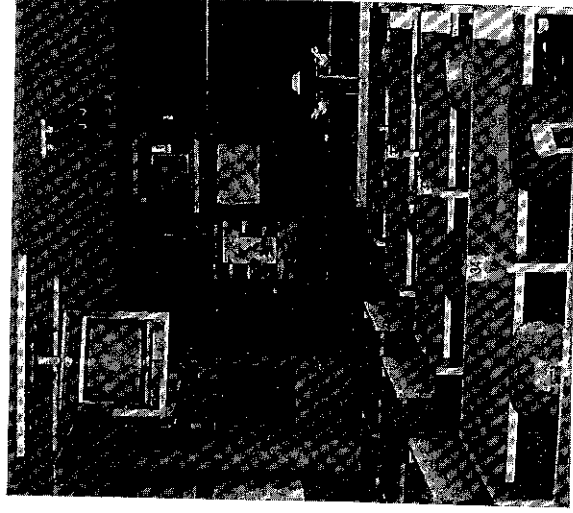
習意欲を高める指導はどのようにしたらよいか」の研究主題のもとに取り組ん

だ。

生徒指導部を中心として、教務部、進路指導部を加えたプロジェクトチームを結成し、各種の調査・検査や各教科指導・教科外教育活動・カウンセリング・進路指導等を通して実践研究を進めていくことによって、本校教育の基本路線ができ、方向づけが確立した。

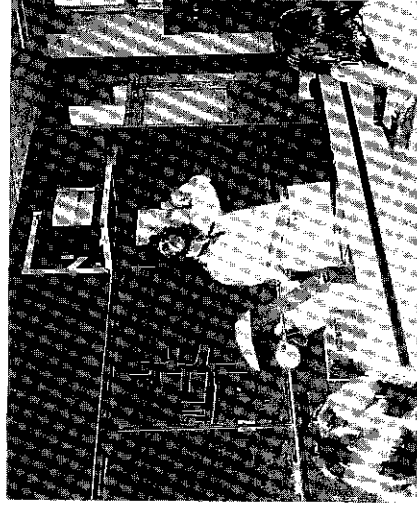
大阪府教育委員会L.L.英語教育の指定校となる(昭和54・55年度)

音声指導充実の一環としてL.L.教室を位置づけ、普通教室での機器利用と共に、総合的に活用。教員の研修体制を充実し、教材作成等で活発な共同研究を行い、生徒に対し、新しい角度からの動機づけが出来て、学習意欲に好影響を与えた。



▲ L.L.教室

大阪府立高校英国人英語指導教員
配置校となる(昭和57年度)



▲ 指導中のクルックス先生

「日本国とグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国との間の文化協定の趣旨に基づき、日英両国民の友好親善及び相互理解の促進並びに本校英語教育の一層の充実を図るため、文部省英国人英語指導教員招致事業に基づき、府教育委員会が非常勤嘱託として採用した英国人指導教員の招請校に56年度指定されて、ヴィスニスカ先生の授業をうけ更に57年度は配置校となりアンソニー・J・

若さあふれる指導ぶり
生徒たちに、英語熱、

若い目の熱中先生



もうとまも、若い目の先生

本校の外国人指導教員をめぐって

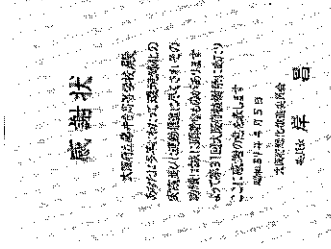


クルックス氏を迎えた。

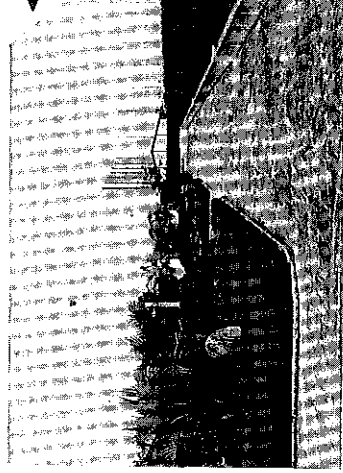
クルックス氏は、アイリッシュ海に浮かぶ人口5万人の小さなマン島出身で、イギリスのリーズ大学フランス語学科を卒業し、赴任らしい松原市のアパートに住み、藤井寺高校で毎週月、火、水曜日の三日間、1日2～3時間ずつ英会話を中心に授業をするほか、英会話クラブ、英語担当教員の研修指導も担当した。

府知事より環境緑化推進の功績に
対し感謝状を受ける(昭和57年度)

本校は、府立高校の中でも緑の多い学校であり、特に中庭の美しさは代表的なものである。校舎の周囲の樹木も年を増すごとに成長し、緑色の安らぎを感じるの多い樹木をこまめに育てあげられたのも、本校教師の方々の努力によるものである。



緑葉繁る木々



主な樹木

キョウチクトウ、メタセコイヤ、アメリカアブラカイトカイアブキ、ヒマラヤヤスギ、サンゴジュ、キンツクセイ、ツバキ、イチヨウ、ヤナギ、サクラ、トベラ、サザンカ、ツツジ、サツキ、シンガシラ、ジンチヨウガ、ココス

多年にわたっての環境緑化の美観並びに、

部活動の記録と状況

●硬式テニス部

(男子)

昭和57年度 夏季大会ブロック優勝 安村和三

●男子バスケットボール部

昭和52年度 新人戦地区予選ベスト8

中央大会出場

昭和53年度 新人戦地区予選ベスト8

中央大会出場

昭和54年度 大阪総体 府下ベスト16

●女子バスケットボール部

昭和53年度 新人戦地区ベスト8、中央大会出場

昭和54年度 新人戦地区ベスト8、中央大会出場

昭和55年度 新人戦地区ベスト8、中央大会出場

昭和56年度 大阪I.H 府下ベスト16

新人戦地区ベスト8、中央大会出場

●男子バレーボール部

昭和55年度 春季大会3部優勝(2部へ昇格)

昭和56年度 夏季大会 府下ベスト16

(現在4部)

●女子バレーボール部

昭和54年度 府立高校大会ベスト16

選抜大会府予選ベスト16

昭和57年度 選抜大会府予選ベスト16

(現在2部)

●体操部

昭和51年度 春季大会 個人総合5位 藤井栄子

大阪I.H 個人総合3位 藤井栄子

種目別床優勝 藤井栄子

昭和52年度 総体 男子団体総合4位

(丹羽、岡田、中西)

1・2年生大会

種目別吊輪3位 岡田一彦

昭和53年度 大阪I.H 呂兼全国近畿予選

個人総合3位

男子団体総合3位

(丹羽、岡田、中西)

個人総合6位 岡田一彦

近畿高校選手権大会出場 岡田一彦

全国選手権大会出場 岡田一彦

総体 男子団体総合2位

(丹羽、岡田、中西)

個人総合4位 岡田一彦

●サッカー部

昭和55年度 大阪冬季大会 ベスト16

昭和56年度 大阪冬季大会 ベスト16

昭和57年度 大阪冬季大会 ベスト8

昭和58年度 全国総体大阪予選 ベスト16

●ラグビー部

昭和57年度 近畿大会大阪府予選

Cブロック ベスト4

●バドミントン部

昭和53年度 大阪I.H 優勝 山田智嗣

●剣道部

昭和56年度 大阪高校剣道新人大会 男子団体8位

総体大阪府予選 女子団体8位

昭和57年度 総体大阪府予選 男子団体16位

第7学区公立高校剣道練成大会

男子団体3位、女子団体2位

女子個人優勝 中川茂美

準優勝 山田和美

昭和58年度 第7学区公立高校剣道練成大会

女子団体3位

男子個人優勝 大江幸路

3位 山田慎仁

女子個人3位 山田和美

文化系

●吹奏楽部

昭和56年度より羽曳野市民体育祭、近畿総合高校総合文化祭に出場。

昭和53年度より高鷲学園他で、積極的に校外演奏を行なっている。

●美術部

昭和51年度～現在 全大阪高校美術工芸展出品

毎年6～10名出品、推奨作品にも選ばれる

昭和53年度～現在 第7学区高校美術工芸展出品

全員出品、推奨作品にも選ばれる

昭和56年度 大阪府高校芸術文化祭出品

(千井久枝)

昭和57年度 近畿高校総合文化祭出品

(口石雅弘)

●将棋部

昭和57年度 全国高校将棋選手権大阪府大会

個人戦準優勝 田中 学

●演劇部

昭和54年度 大阪高校演劇コンクールH地区大会

優秀賞 「16才の終りに」

▼水泳部



部活動の記録と状況

ら負けました。これからの練習方法は体力づくりと精神力を強めることです。選征では、今までとちがうプレイングをするため真剣にとりくんでいきたいです。

バドミントン部

体育館使用日はシャトル(羽)を打つことを中心にノックなどを行なっています。他の日は基礎体力づくりです。試合経過も良い成績になってきているので、練習の励みになっています。先輩後輩とも仲がよいです。

サッカー部

我がサッカー部は、今まで冬期大会ベスト16のかべを破る事を目標とし、トレニングに励んできました。日頃は練習試合を重ね、夏・冬の休みには選征試合を計画してきました。公式戦では良い成績をおさめています。

ラグビー部

毎日の厳しい練習。「トライ」のためなら厳しい練習などつらくない。その練習の成果を発揮する時がくる。「15人は1人のために、1人は15人のために」我が部員は「トライ」を目標に固く結ばれている。

男子ハンドボール部

公式戦においても3回戦を目標にがんばってききました。練習内容は充実し、夏の合宿で実力をアップすることができました。部員が少ないので、部員数を増やし公式戦ではよい成績を得られるようがんばりたいです。

女子ハンドボール部

本年度の目標は、2回戦を突破して勝ち進むことです。そのためにトレニングをはじめとして、毎日部員たちで工夫して、持久力のあるねばり強いチームへと練習するよう努力しています。

女子ソフトボール部

私たちの目標は、公式戦で大阪府下ベスト16に入ることです。この厚い壁を破ろうと力を合わせて取りくんでいます。9人が1つとなるチームワークがとても大切なやりがいのあるスポーツです。

水泳部

我々水泳部は「努力」をモットーに練習に励んでいます。夏は1日1万メートルを目標に泳ぎ、冬はシーズンに向けて基礎体力強化のための陸上トレニングや室内プールの練習を行っています。

体操部

55年2学期より56年の間活動を止めていたが、現在部活動として復活。58年は5名の部員で活動中。先輩の団体大阪府2位という活躍にはずかしくなくような戦績をあげるべくがんばっています。

文化系

演劇部

毎日の練習内容は基礎トレ・発声が主で、台本読みやエチュード等です。発表会は毎年5回ありますが、57年度は新人生歓助会で3人劇に、合同発表会で男役に、文化祭でスリラー、コンクールでは風刺劇に挑戦しました。

吹奏楽部

クラブアモモから一年間の活動が始まり、合同発表会、体育祭、文化祭と校内で活躍すると同時に、羽曳野市民運動会・高鷲学園での演奏、近畿高校総合文化祭にも参加し、日毎に実力をつけています。

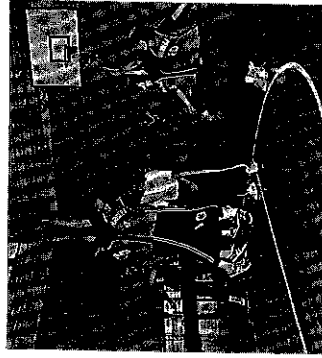
写真部

本校創立の年に生まれた伝統ある部です。3年目に全国高校写真コンクールで学校賞を獲得。大阪府コンクールでは知事賞も受けています。月一度の撮影会、校内月例展を実施するなどして技術の向上を目指しています。

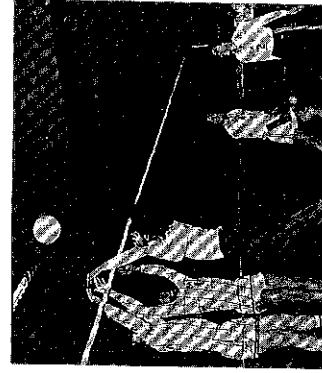
放送部

日常の活動は昼の放送と下校放送が中心で、その他文化祭、体育祭、合同発表会にも参加しています。昼の放送は好評で、20分間の番組の中に連絡放送を入れながら季節の話題を盛り込み、音楽を流し、昼のアオアシスになっています。

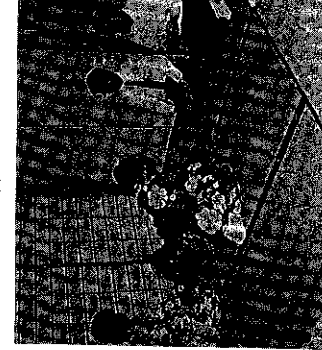
▼ 女子バスケットボール部



▼ バレーボール部



▼ 茶道部



資料

入学者状況

卒業生記念品一覧

年度	定員		志願者		合格者				合格率		学級数
	名	名	男	女	男	女	男	女	%	%	
49	540	301	251	552	295	245	540	98.0	97.5	97.8	12
50	540	358	311	669	292	248	540	81.6	79.7	80.7	12
51	540	359	329	688	275	265	540	76.6	80.5	78.5	12
52	552	297	315	616	276	276	552	92.9	86.5	89.6	12
53	564	267	309	576	267	297	564	100.0	96.1	97.9	12
54	564	327	346	673	276	288	564	84.4	83.2	83.8	12
55	564	320	328	648	276	288	564	86.8	87.8	87.0	12
56	564	335	348	683	276	288	564	82.4	82.8	82.6	12
57	517	266	302	568	248	269	517	93.2	89.1	91.0	11
58	564	310	355	665	276	288	564	89.0	81.1	84.8	12

期生	卒業年月	記念品名
一期生	昭52・2	大王松(一本)、樫(一本)、ベンチ(十脚)、絵画(一点)
二期生	昭53・2	楠(一本)、椎(四本)、花瓶(一点)、図書
三期生	昭54・2	唐櫛、ビデオテープ録音装置、図書
四期生	昭55・2	蘇鉄一式、ハミリ映写機、スライドプロジェクター、図書
五期生	昭56・2	フェニックス一式、パーソナルコンピューター及びディスプレイベンチ(十脚)、図書
六期生	昭57・2	フェニックス一式、パーソナルコンピューター、図書
七期生	昭58・2	フェニックス一式、食堂前テント一式、図書

利用交通機関

交通機関 年度	近鉄		南海		バス		地下鉄		国鉄			自転車		徒歩のみ	
	名	名	名	名	名	名	名	名	環状線	その他	名	名	名	名	名
49	256	9	50	15	8	15	249	0	8	15	249	0	0	0	0
50	521	28	112	39	25	55	452	0	25	55	452	0	0	0	0
51	708	98	114	52	45	88	772	122	45	88	772	122	122	122	122
52	712	29	73	50	38	89	949	0	38	89	949	0	0	0	0
53	668	26	52	36	22	75	967	33	22	75	967	33	33	33	33
54	638	22	40	24	14	60	1215	57	14	60	1215	57	57	57	57
55	508	16	21	23	11	44	1346	39	11	44	1346	39	39	39	39
56	435	6	14	32	6	31	1387	37	6	31	1387	37	37	37	37
57	341	1	9	16	2	29	1411	26	2	29	1411	26	26	26	26
58	270	2	10	7	0	12	1443	25	0	12	1443	25	25	25	25

通学所要時間

所 要 時 間 年 度	10分以内		20分以内		30分以内		40分以内		50分以内		1時間以内		1.5時間以内		1.5時間以上	
	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
49	25	128	93	87	65	74	67	1	5	3	5	1	1	1	1	1
50	25	247	90	226	65	273	143	5	65	273	143	5	5	5	5	5
51	62	451	298	165	213	240	172	3	213	240	172	3	3	3	3	3
52	73	428	293	196	229	263	129	5	229	263	129	5	5	5	5	5
53	73	373	382	210	328	177	89	1	328	177	89	1	1	1	1	1
54	77	392	429	219	322	154	69	4	322	154	69	4	4	4	4	4
55	105	467	438	244	234	139	39	4	234	139	39	4	4	4	4	4
56	79	530	500	205	227	96	35	0	227	96	35	0	0	0	0	0
57	95	573	515	203	160	57	32	4	160	57	32	4	4	4	4	4
58	116	609	548	181	134	42	10	1	134	42	10	1	1	1	1	1

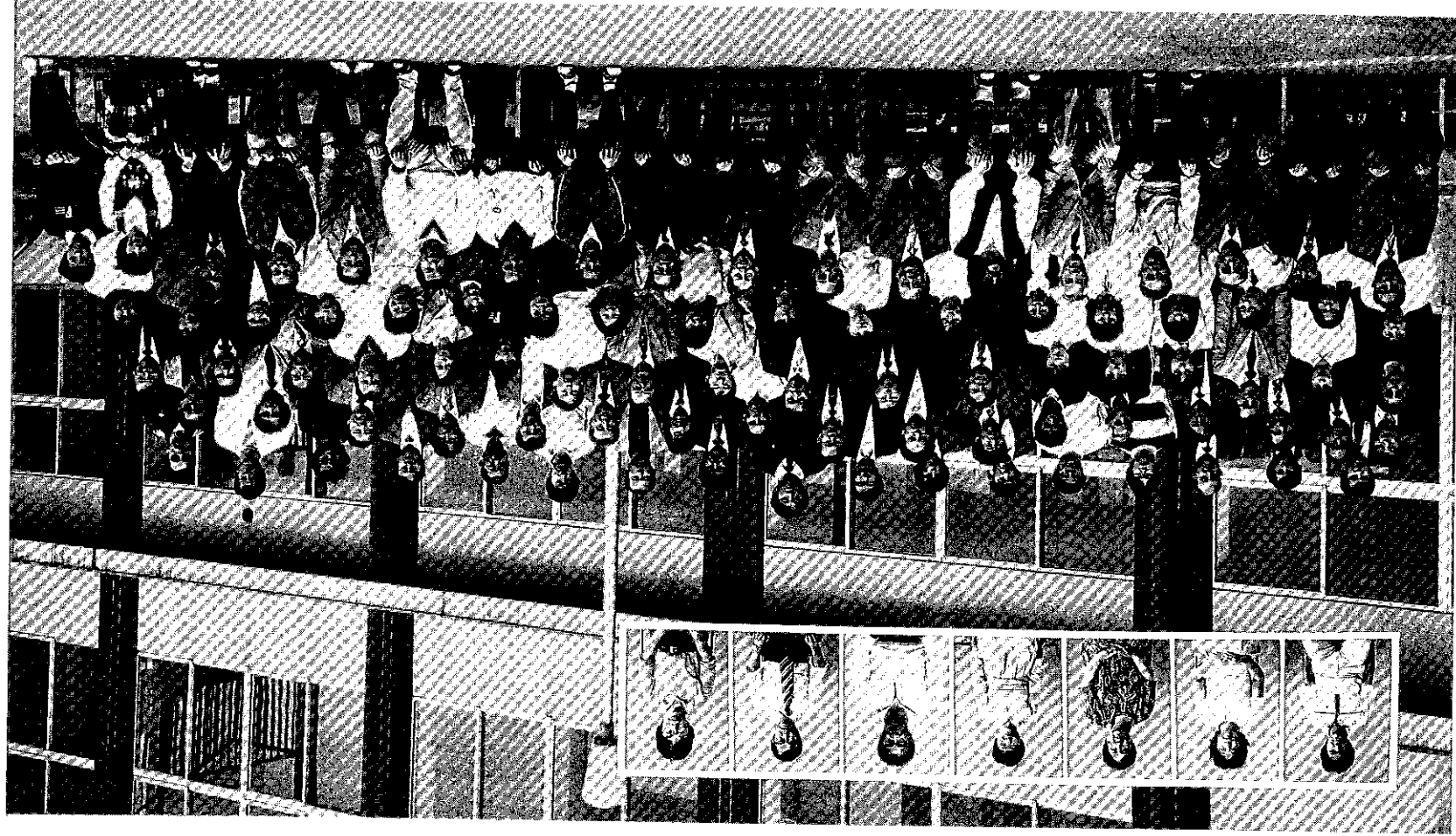
資料

◆文化系

名	年	度	現況													
			49	50	51	52	53	54	55	56	57	58				
演劇	辻	森井	辻	香川	辻	香川	辻	香川	辻	香川	辻	香川	辻	香川	辻	香川
写真	森井	森井	森井	森井	森井	森井	森井	森井	森井	森井	森井	森井	森井	森井	森井	森井
吹奏																
美術	術	寺本	寺本	寺本	寺本	寺本	寺本	寺本	寺本	寺本	寺本	寺本	寺本	寺本	寺本	寺本
コラ	ス	森井	森井	森井	森井	森井	森井	森井	森井	森井	森井	森井	森井	森井	森井	森井
英文	タイ															
英語	タイ															
地歴	研究	橋本九	橋本九	橋本九	橋本九	橋本九	橋本九	橋本九	橋本九	橋本九	橋本九	橋本九	橋本九	橋本九	橋本九	橋本九
放送																
漫画	研究															
茶道																
フォーク	ソング	川中	川中	川中	川中	川中	川中	川中	川中	川中	川中	川中	川中	川中	川中	川中
新聞																
現代	音楽															
P E C																
書道																
生物																
I B C																
料理	研究															
囲碁																
将棋																
華道																
ボラ	ン															
部落	研究	山平	山平	山平	山平	山平	山平	山平	山平	山平	山平	山平	山平	山平	山平	山平
文芸																
音楽																
ロック	音楽															
賞																

現職員写真

(昭和58年4月撮影)



職員在籍異動

職名	教科	氏名	在籍期間(年度)											異動先	
			49	50	51	52	53	54	55	56	57	58			
社 会		矢野 勝彦					保	1保	2図	3図					堺東高
		大野 木好江					保				1図	2保	3保	2教	
		松本 正											1保	2総	
		阿形 恒秀													長吉高
		吉野 勇二													
		房本 進吾													
		村上 晃美													
		光田 藤一													
		川上 俊次	教	1教	2生	3保	1教	進	3進	1教	2進				
		田中 道雄	1教	2教	3教	1教	2生	生				1教	2		
教		中 沢 一	教	教	(講)										清友高
		松浦 友志	生	1生	1生	2保	3教	2進	3進	2進	2進	3進			平野高教頭
		南 武 夫	②	②	△教	②	③								
		伊賀崎 良太		保	1教	2進	3保	図	2総	1総	2総				
		大(旧屋) 屋 ひろみ (川中)	進	教	教	進	進								(退職)
		藪野 清	1進	進	3進	3進	進	教							勝山高
		西崎 実		3教	1進	1進	2図	1生	生	3生	①	②			
		前田 美恵子		保	保	保	保	保	1教	2教	3教				富田林高
		松尾 好文		3生		3総	1総	2進							
		橋本 草				1生	2教	3進	進	2進	3進	進			
学		岡本 貞美													
		村上 寛明													
		木島 淳子 (旧陸奥)													
		荒瀬 和夫	④			教	教	教	教	図	図				
		植野 敏郎	1生	1教	進										泉大津高
		富賀 肇	1保	2総	3生	2総	3保	1総	1総	1総	1総				
		山田 博	1生	1生	生	3図	3図	1生	生	3生	1生	2生			
		朝山 浩和		2総	3図	生	2進	3進	2進	3進	保	1保			河南高教頭
		末広 礼二		④	④	④	④	進	④						
		仲谷 隆次		生	2生	3生	1生	2生	3生	生	2生	3生			
論		船勢 省三		1総	1総										泉北高
		前田 昭吾		④	2総										貝塚南高
		石上 知良			1生	生	教								東住吉高
		山田 忠男		2生	3生	3生	1生	④	④	④	④	生			
		筒井 完次			生	2生	3生	1教	教	進	1進				
		福西 浩			1生	1図	2生	3生	1生	生	3教				
		松下 元彦			生	1生	3生	1生	1生	1生	1生	3図			
		谷口 房伸					生	1生	2生	3生	2生	2生			

職員在籍異動

職名	教科	氏名	在籍期間(年度)										異動先				
			49	50	51	52	53	54	55	56	57	58					
実習助手		北村直子															
		樋下喜美子															
事務長		北浦智代子															(退職)
		斎藤博															
主査		井上悦男															
		溝畑与文															
主		河原昭弘															
		鹿屋英子															
主		小谷光一															
		近藤利弘															
主		望月朝子															門真南高
		中谷工															
主		倉荆礼子															
		花岡弘															
技師		松井高美															
		大中一久															
校医		秋田正夫															
		林綾子															
校医		西岡宗三郎															
		藤井清															
歯科医		西真勝															
		門口元信															
薬剤師		芝田健二															
		田中充子															

講師 () は本校在職年度

教科	氏名	名
国語	大岡加寿子(50)、川久保明美(51)、永淵友季子(51)	
	和田昌明(51)、藤山恭子(52)、村島洋子(53)	
社会	平松鏡子(53)、上笹敦子(53~58)、金淀典子(54)	
	谷知野子(54)、芝田文子(54)、長田初子(55~58)	
数学	瓶内佐容子(57~58)	
	武部正夫(49)、岡山昭道(51~53)	
理科	春永幹夫(52~53)、北野吉伸(56)、松島真理(57)	
	関口晴之(58)、小田昭善(58)	
保健体育	池野雅寿(52)、三浦加津子(52)、紙田春夫(53)	
	鳥越(池瀬)良子(53~54)、鯉川美昭(54)	
理	松下千明(55)、和泉礼二(56)、金銅算好(55~58)	
	青藤仁成(56)、沼田充史(56)、乾有子(57~58)	
科	井阪素充(58)	
	土井一久(51)、竹川元寛(51)、古田英文(53)	
保	目康夫(54)、守本隆保(53~55)、青木隆(55~56)	
	木村和厚(55~58)、山下敬介(57)	
健	渡辺真美子(49)、吉田五十鈴(49)	
	玉井(竹下)祥子(51)、服部幸(51)、山口健一(51)	
体	中島滋英(51)、土井輪成(51)、根本道世(52)	
	杉野美智子(52~55)、上野副史(54~55)	
育	岡山智美(56~58)、松浦昭彦(56~58)	

教科	氏名	名
音楽	井岡 啓(51~53)、佐野史子(54)	
	田中由喜子(56~57)	
美術	北島 博(49)、上田敬文(52)	
	島田まり(49~51)	
英語	横井正昭(49)、石原 光(49)、糟谷博子(50)	
	前田正和(51~52)、西村光生(51)、川野道生(51)	
家庭	西田孝雄(51~54)、影山恵則(53)、飯田治夫(53)	
	渡辺(飯上)伸子(53~58)、芝 郁郎(54)	
家庭	村井泰行(55)、新田裕子(55~58)、岡本耕一(56)	
	柳本光世(56)、吉村直哉(57)、山本明可(58)	
家庭	以倉淳子(50~58)、山口志都(53)、大島幸子(55)	
	中倉佳代(57~58)	

◇ 助手及補助員

<教務事務>	長谷川滝子(50~58)
<事務>	用吹賢司(51)、橋目安世(52~53)
<家庭>	大倉由美子(53~58)、浜口許子(54~55)
<理科>	細田清代(55)
<理科>	高須澄子(58)